





安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するた めのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.



	仕	様
使用電圧	100V 50/60Hz	
消費電力	55W	
外形寸法	幅 50.4cm× 奥行 23.6cm	× 高さ 3
質 量	11.2kg(本体)	
使用針	家庭用 HAX1	
見合めい法庭	毎分1000針(直線模様)	
取同ゆい述反	フットコントローラー使用時	毎分10

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- けください。

修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要 に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとで も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。 ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - したとき。
- 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計にな ります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル) 042-661-2600 受付 平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ https://www.janome.co.jp 問合せフォームをご利用ください。

31.6cm

00 針(直線模様)

仕様および外観は改良のため予 告なく変更することがあります のでご了承ください。

● 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付

4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷

◎お取り扱いについてのお願い		.2
◎各部のなまえ		.3
◎標準付属品と収納場所	4~	-5
●標準付属品		.4
●収納場所(1)(天板収納部)		.5
●収納場所(2)(補助テーブル収納部)		.5
◎操作方法	6~	19
 ● 雷源のつなぎ方 		.6
★スタート / ストップボタンを使用する	5場合	.6
★フットコントローラーを使用する場合	<u></u>	.6
 ●速さの調節		.7
★スピードコントロールつまみ		.7
★ノット」ントローフー ●場佐ギクン	0 -	. /
●探1Fハンノ	0~	10
 ●ロックキーの使い方 		11
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	12
●ニーリフト		12
●送り歯ドロップつまみ	••••••	13
●送り調節ねじ(模様の形の調節)		13
●押さえの外し方、付け方		14
●押さえホルダーの外し方、竹け方 ●上洋り畑オネのセット方法		15
● PD-H・フリーキルト抽さえの取り付け	方	17
 ●針板の外し方、付け方 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18
●針の取りかえ		19
●布に適した糸や針を選ぶ目安		
		19
◎ぬう前の準備	20~2	26
◎ ぬう前の準備 ●下糸の準備	20 ~ 2 20 ~ 2	26
◎ ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し	20 ~ 2 20 ~ 2	26 23 20
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★えこまのセット 	20 ~ 2 20 ~ 2	26 23 20 20
 ○ぬう前の準備	20 ~ 2 20 ~ 2	26 23 20 20 21
 ◎ぬう前の準備	20 ~ 2 20 ~ 2 	26 23 20 20 21 22
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★ボビンのセット ● ト糸の準備 	20~2 . 20~2 . 21~2 . 21~2	26 23 20 21 22 20 21 22 23 5
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ 	20 ~ 2 20 ~ 2 21 ~ 2 21 ~ 2	26 230 21 223 254
 ◎ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ… ★糸通し… 	20 ~ 2 20 ~ 2 21 ~ 2 24 ~ 2	26 23 20 21 22 23 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25
 ○ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★市糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆未通し ●下糸を針板の上に引き出す場合 	20~2 20~2 21~2 21~2	26 23 20 21 23 20 21 23 25 25 26 20 21 23 25 26 26 26 27 27 26 27 27 27 27 27 27 27 27
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆糸通し ●下糸を針板の上に引き出す場合 	20~2 20~2 21~2 24~2 24~2	26 220 220 220 220 220 220 220 220 220 22
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方 ★市ビンのセット… ●上糸の準備 ★上糸かけ ●下糸を針板の上に引き出す場合 ●実用ぬいの画面… 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 24~2	26 220 220 220 220 220 220 220 220 220 22
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ… ★糸通し… ●下糸を針板の上に引き出す場合… ◎実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… 	20~2 20~2 21~2 24~2 24~2 24~2 22~2	26 20 20 20 20 20 20 20 20
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ●下糸を針板の上に引き出す場合 ③実用ぬいの画面 ●実用ぬいの調節画面 ★ぬい目の幅調節キー 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 22~2 22~2	26 200 200 200 200 200 200 200 200 200 20
 ○ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ… ★糸通し… ●下糸を針板の上に引き出す場合 ●実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ★ぬい目の幅調節キー… ★ぬい目の転らさ調節キー… 	20~2 .20~2 .21~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 24~2 22~2 24~2 22~2 24~2 22~222~2	26 200
 ◎ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ… ★糸通し… ●下糸を針板の上に引き出す場合… ◎実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ●実用ぬいの調節画面… ★ぬい目の幅調節キー… ★約い目のあらさ調節キー… ★約い日の転(給佐業)、めい日のちごさ 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 22~2 22~2 28~2 28~2 28~2 28~2 28~2 28~2 28~2 20~220~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~2 20~22	26 300 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1
 ◎ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ… ★糸通し… ●下糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ◆ぬい目の幅調節キー… ★ぬい目の転らさ調節キー… ◆ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、 ◆調子のオート値の空車 	20~2 .20~2 .21~2 .24~2 24~224~2 24~2	26 300 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 1 7 1 9 0 1 1 2 3 5 4 5 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
 ◎ぬう前の準備… ●下糸の準備… ★ボビンの取り出し… ★糸こまのセット… ★補助糸立て棒の使い方… ★下糸巻き… ★ボビンのセット… ●上糸の準備… ★上糸かけ ★糸通し… ●下糸を針板の上に引き出す場合… ◎実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ●実用ぬいの画面… ◆はい目の幅調節キー… ★ぬい目の幅調節キー… ★約引子調節キー… ●ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、 ※調子のオート値の変更 ●直線(直線状模様)ぬい 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 22~2 22~2 23~2 23~2	26 3 0 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 9 0 1 2 3 1 3 1 3 1 3 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆上糸かけ ●下糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ◆はい目の幅調節キー ★ぬい目のあらさ調節キー ★ねい目の幅調節キー ★約い目のあらさ調節キー ◆糸調子調節キー ●はい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、 ※調子のオート値の変更 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 22~2 23~2 	26 3001235456 3 71901 294
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆上糸の準備 ★上糸かけ ◆糸通し ●下糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ◆はい目の幅調節キー ★ぬい目のあらさ調節キー ★糸調子調節キー ◆ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、 ※高線ぬい(中針位置) ★上送り押さえの使い方 	20~2 20~2 21~2 24~2 24~2 28~2 28~2 	26 300 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 90 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 90 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 90 1 2 9 4 5
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆上糸かけ ●上糸の準備 ★上糸かけ ★糸通し ●下糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ◆実用ぬいの調節画面 ★ぬい目の幅調節キー ★ぬい目の「 ★協い目の幅調節キー ★糸調子調節キー ●はい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値の変更 ●直線(直線状模様)ぬい ★直線ぬい(中針位置) ★上送り押さえの使い方 ★自動返しぬい 	20~2 20~2 21~2 21~2 24~2 22~2 23~2 	26 30001235456 3 71901 29456
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★福助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ◆上糸かけ ◆糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ◆はい目の幅調節キー ☆ぬい目の幅高節キー ★為調子調節キー ◆ぬい目の幅(針位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値の変更	20~2 .20~2 .21~2 .24~2 .24~2 .28~2 28~2 	6 300 1 2 3 5 4 5 6 3 7 1 90 1 2 9 4 5 6 6 7
 ◎ぬう前の準備 ●下糸の準備 ★ボビンの取り出し ★糸こまのセット ★補助糸立て棒の使い方 ★下糸巻き ★下糸巻き ★ボビンのセット ●上糸の準備 ★上糸かけ ★糸通し ●下糸を針板の上に引き出す場合 ◎実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ◆実用ぬいの画面 ◆実用ぬいの画面 ◆実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの声の ●実用ぬいの声の ●実用ぬいの声の ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの画面 ●実用ぬいの声の ●実用ぬいの ●実用ぬいの ●実用ぬいの ●実用ぬいの ●実はしぬい ●実用の正の ●実用の正の ●実用の正の ●実用の正の ●実用の正の ●実用の正の ●実用の正の ●実用の ●実用の ●実用の ●実用の ●実用の ●実用の	20~2 .20~2 .21~2 .24~2 .24~2 .23~2 .33~2 .33~3	6 3001235456 3 71901 29456677

目 次

 ★伸縮ぬい(ニットステッチ) ★針板ガイドの使い方 ◆直線ぬい用針板の使い方 ●しつけぬい ●つくろいぬい ●かがりぬい ★かがりぬい(1) ★かがりぬい(2) ★ニットステッチ(1) ★ニットステッチ(2) ●バック直線ぬい 	.41 ~	37 38 39 40 41 41 41 41 42 42 42
 ●ファゴティング ●その他の実用ぬい 		43
◎ボタンホール・特殊模様	44 ~	~ 60
●ボタンホール・特殊模様の画面		
●ボタンホールの種類と用途		45
●スクエアボタンホール	.46 ~	~ 49
★ボタンホールの調節画面		49
●メモリーボタンホール		
(スクエアボタンホール)	. 50 ~	~51
●ラウンドボタンホール		52
●キーホールボタンホール		52
●ニットボタンホール		52
●ボタンホール安定板の使い方		53
●たまぶちボタンホール	. 54 ~	~ 55
●芯入りボタンホール		56
●つくろいぬい(ダーニング)	. 57 ~	~ 58
●かんぬき		59
●アイレット		60
◎飾りぬい	61 ~	~ 75
●飾りぬいの画面	.61~	~ 63
★模様選択画面		63
●模様組み合わせモード	~ 1	- 73
	.64~	
★模様組み合わせぬいの例	. 64 ^	65
★模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~	65 ~67
 ★ 模様組み合わせぬいの例 ★ 反転キーの使い方 ★ 模様頭出しキーの使い方 	. 64 ~	65 ~ 67 68
 ★ 模様組み合わせぬいの例 ★ 反転キーの使い方 ★ 模様頭出しキーの使い方 ★ プレビュー機能 	. 64 ~	65 ~ 67 68 69
 ★ 模様組み合わせぬいの例 ★ 反転キーの使い方 ★ 模様頭出しキーの使い方 ★ プレビュー機能 ★ 編集機能 	. 64 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71
 ★ 模様組み合わせぬいの例 ★ 反転キーの使い方 ★ 模様頭出しキーの使い方 ★ プレビュー機能 ★ 編集機能 ★ 模様全長表示機能 	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71 ~ 73
 ★ 模様組み合わせぬいの例 ★ 反転キーの使い方 ★ 模様頭出しキーの使い方 ★ プレビュー機能 ★ 編集機能 ★ 模様全長表示機能 ● 模様の長さ調節機能 (エロンゲーション) 	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71 ~ 73 74
 ★ 模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71 ~ 73 74 75
 ★ 模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71 ~ 73 74 75 ~ 81
 ★ 模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 ~ 71 ~ 73 74 75 ~ 81 ~ 77
 ★ 模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~ . 72 ~	65 ~ 67 68 69 ~ 71 ~ 73 74 75 ~ 81 ~ 77 77
 ★ 模様組み合わせぬいの例	. 64 ~ . 66 ~ . 70 ~ . 72 ~ . 72 ~ . 76 ~	65 - 67 68 - 71 - 73 74 75 - 81 - 77 - 81

◎お取り扱いについてのお願い

◎用途選択	82~	112
 ●用途選択の画面 	82 ~	~ 83
★模様選択画面		84
●地ぬい		85
●ふちかがり		86
●まつりぬい	87 ~	~ 88
●シェルタック		89
●三つ巻きぬい		90
●ファスナー付け	91 ~	~ 93
●コンシールファスナー付け (オプション)	94 ~	~ 95
●ギャザー		96
●しつけ		97
●ボタン付け	97 ~	~ 99
●かんぬき		1 O C
●アップリケ ⁻	$100 \sim$	101
●パッチワーク ⁻	$102 \sim$	103
●キルティング	$104 \sim$	112
★直線ぬい		104
★とじぬい		105
★フリーキルティング	$106 \sim$	11C
★刺し子風ステッチ		111
★手ぬい風キルトぬい		111
★バリアブル ZZ(可変ジグザグ)		112
◎ 2 本針ぬい	113~	114
◎模様データの保存・呼び出し	115~	120
 ● 模様データの保存 	115~	110
 ●模様データの呼び出し。 	119~	120
	101 -	100
	121~	120
◎ミシンのお手入れ	129~	130
●かまと送り歯、糸切り部の掃除		129
●糸案内カバーの掃除		130
©こんなときには	131~	135
●注意メッヤージが表示された場合	131~	132
●ブザー音の種類		132
●ミシンの調子が悪いときの直し方	133~	135
◎模様一覧表	136~	138

目

次

◇ご使用の前に

- ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う 前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



 ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでく ださい。

ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンド ルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえ てください。



◇修理・調整についてのご案内 万一不調になったり故障が生じたときは、「◎こん なときには」(131~135ページ)により点検・ 調整を行ってください。



① 天びん 2 早見板 ③ 天板 ④ タッチペン収納場所 ⑤ 小物置きスペース ⑥ 糸切り(下糸巻き用) ⑦ 糸巻き軸 ⑧ 糸切りホルダー (9)補助糸立て棒取り付け穴 (10) 糸立て棒 (1) 糸こま押さえ(大) 12 面板 (13) 糸切り (14)補助テーブル (15) 針板開放レバー 16 スタート / ストップボタン (1) 返しぬいボタン (18)止めぬいボタン (19)上下停針ボタン 20 押さえ上下移動ボタン ②1 糸切りボタン (22)送り調節ねじ(ふた付) 23 ニーリフト取り付け穴 24 スピードコントロールつまみ (25) 画面(タッチパネル) 26 アーム糸案内 (27) 針止めねじ 28 針 29 押さえ 30 針板 ③1 角板開放ボタン 32 角板 33送り歯 34 押さえホルダー ③ 押さえホルダー止めねじ 36 糸通しレバー ③ ボタンホール切りかえレバー 38手さげハンドル 39 はずみ車 ④ 上送り調節ダイヤル ④ 自動糸切り外部操作端子 ④ USB 差し込み口 (43)送り歯ドロップつまみ (4) プラグ受け (45) フットコントローラープラグ受け (46) 電源スイッチ ④ 上送り装置 (48) 押さえ上げ

- ※ 製品改良のため、部品の形状や仕様を予告なく変更 する場合がありますので、ご了承ください。
- ※ ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、 必ず、もう片方の手でミシンをささえてください。

◎標準付属品と収納場所

●標準付属品







天板を上に開けると、小物置きスペースに、押さえや ボビン等の小物が収納できます。

補助テーブルのカバーを開けると、押さえやボビン等、 その他の小物が収納できます。

【補助テーブルのカバーの開け方】

補助テーブル左側のくぼみに指をかけ、手前に引いて 開けます。

【補助テーブルの外し方・取り付け方】

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。 取り付けるときは、フリーアームにそわせ、突き当た るまで押し込んで取り付けます。

補助テーブルを外すと針板などが収納できます。

※ 針板は、図のように収納してください。 また、R:ボタンホール押さえ、ボタンホール安定 板、上送り押さえホルダーと押さえも図の位置に 収納してください。

<u>フリーアームの使い方</u>

補助テーブルを外すとフリーアームになります。 そでぐちやすそなどのぬい、および袋物のくち端の始 末に利用できます。

○操作方法●電源のつなぎ方

 ・ 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
 ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。

 ・電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。

ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

★スタート / ストップボタンを使用する場合





電源スイッチを「OFF」(切)にします。

- ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ③電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期 設定が数秒間行われます。 初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。
- ※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切)の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプションに なります。
- 電源スイッチを「OFF」(切)にします。
- フットコントローラープラグをフットコントローラー プラグ受けに差し込みます。
- ③ 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方 法は 7 ページをごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続すると、スタート/スト ップボタンは使用できません。

★スピードコントロールつまみ



★フットコントローラー





スピードコントロールつまみは、スタート / ストップボ タン使用時のぬう速さを調節できます。 つまみの位置が右側になるほど速くなります。

- ※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラ ーをいっぱいに踏み込んだときの最高速度を調節でき ます。
- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプションに なります。

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節 できます。

- ・深く踏む→速くなる。
- ・浅く踏む→遅くなる。
- ※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側 の位置(最高速)にして、踏みかげんで調節してくだ さい。

初心者の方が細かいものをぬうときなどは低速側にし ておくと、フットコントローラーをいっぱいに踏み込 んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

⚠ 注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸 くずやほこりがないことを確認してください。
 動作不良を起こし、けが・故障の原因になります。

【コードの取り出し方と収納方法】

- フットコントローラーを使用するときは、底のカバー を外してコードを取り出します。
- ② フットコントローラーを使用しないときは、底のカバ ーを外してコードを巻き付けて収納します。
- ③ カバーは、先に2カ所のつめを押し込んでから取り 付けます。







①スタート / ストップボタン

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。 (スロースタート機能)

- もう一度押すと停止します。(通常は針が下の位置で停止します。)
- ※ ボタンのランプの色がミシン停止中は緑に、運転中は赤になります。
- ※ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるときに、指をはなさないで押し続けているあいだは、ミシンは低速で動きます。
- ※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、針を上の位置に停止することもできます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】②針停止位置」(125ページ)をごらんください。
- ※ 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】③スロースタート調節」(125 ページ)をごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート / ストップボタンは使用できません。

②返しぬいボタン

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。 停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ じつようぬいグループの模様 ↓ (36 ページ参照)およびボタンホールグループの模様 **Ⅲ** 推 は、 特殊な使い方になります。(50、57、59 ページ参照) ③止めぬいボタン

停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

■ その他の模様の場合

ぬい途中にボタンが押されると、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

停止してから押した場合、運転再開後、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬ いを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておくと、模様を1 つだけぬったあと、ほつれ止めぬいを行って自動的にミシンが停止 します。

④止めぬいランプ

使用できるときは,ランプが点灯します。 止めぬいが受け付けられているあいだ,止めぬいランプが点滅します。

⑤上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に、下にあるときは上に移動させる ことができます。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定方法は、「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】②針停止位置」(125 ペ ージ)をごらんください。

⑥押さえ上下移動ボタン

ミシンが停止しているときに、押さえの位置を上下に移動させることができます。

⑦糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り) (針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態でぬうことができます。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸切りを行うこともできます。「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】⑧通常ぬいオートストップ時の糸切り」(126ページ)をごらんください。

⑧糸切りランプ

使用できるときはランプは点灯します。自動糸切り中にランプが点滅します。

<u>糸切りの注意事項</u>

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。
 - …「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい/★直線ぬい(中針位置)/〔面板の糸切りの使い方〕欄」 (34ページ)参照
- ・ 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- ・ 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。
 …「◎ミシンのお手入れ/●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(129ページ)参照
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーによりミシンをロック状態にしてから針板を外し、 からんでいる糸を取り除いてください。
 - …「◎ミシンのお手入れ/●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(129ページ)参照

●画面(タッチパネル)

〔電源投入時のじつようぬい画面〕



※ 画面のキーは付属のタッチペンか指で押して ください。先のとがったものなどで押すと故 障の原因になります。(タッチペンを使うこ とをおすすめします。) ファイルオープンキー(119ページ参照)
 ミシンやUSBメモリに保存してある模様データを 呼び出すときに使います。

 2 模様選択キー 模様を直接選んでぬうことができます。

- ③ セットキー(121 ページ参照) ミシンを初期の状態(購入時の設定状態)からお好 みの状態に設定するときに使います。
- ④ **ロックキー**(11ページ参照)

押さえや針の交換、糸のセットを行うときなどに使 います。 すべて(押さえ上下移動ボタンは除く)のボタンや キーの操作を受け付けなくし、ミシンも動きません。 ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安 全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うこと ができます。

⑤ページキー

現在表示されている模様選択画面や設定画面の次ま たは前のページ(画面)を表示させるときに使います。

▶ キーを押すと次のページ、 キーを押す と前のページに1ページごとにかわります。 キーを押し続けると連続してかわります。 また、中央の帯状のキーを押しながら右側にスライ ドさせると次のページ、左側にスライドさせると前 のページにかえることができます。

- ⑥ 選ばれている模様の代表的なぬいに適した押さえが 表示されます。(ぬい目的によって、使用する押さえ は異なります。)
- ⑦ 調節キー(28ページ参照) 選ばれている模様のぬい目の幅、あらさ、糸調子、 押さえ圧の変更ができます。 (模様によって、調節項目は異なります。)
- ⑧ 選ばれている模様のぬいイメージが表示されます。
- ① 設定キー(27、77ページ参照)
 選ばれている模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。
- 選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。
- (1) 目的の模様が属している模様グループを選ぶときに 使います。

●ロックキーの使い方

〔メッセージ画面〕



ロックキーを押すとミシンがロック状態になったことを 示すメッセージ画面が表示され、メッセージ画面が表示 されているあいだは、押さえ上下移動ボタンを除くすべ てのボタンなどが受け付けません。ミシンも動きません。 ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うことが できます。

- ※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うとき に、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状 態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさげができな い場合があります。
- ※ ロック状態を解除する場合は、ロックキーを押してく ださい。
- ※ ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になりま す。

●押さえ上げ



В

ニーリフト

押さえ上げは、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなど特殊な場合に使います。

- ※ 押さえ上げは、普通にあげて止まる位置(Aの位置) よりさらにあげることができ(Bの位置)、厚い布が 入れやすくなります。
- ※ 通常の押さえのあげさげは、押さえ上下移動ボタンを 使用してください。
 押さえ上げを使用すると、ミシンがスタートしなかっ たり、自動糸切りができない場合があります。
 (押さえの上下移動ボタンは 9 ページをごらんください。)



ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わないで押さえのあげさげができます。 手を使わずにひざの動作で行いますのでキルトなどをぬ うときに便利です。

※ ニーリフトを使用した横振り機能(バリアブルジグザ グ)は「◎用途選択/●キルティング/★バリアブル ZZ(可変ジグザグ)」(112ページ)をごらんください。

取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴 の凹部に合わせ、差し込みます。

ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめてニーリフトを 出し入れし、お好みの角度の位置でねじをしめて固定し ます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり (2段階)、もどすと押さえがさがります。

※ ぬい中は、ニーリフトに触れないように注意してくだ さい。

●送り歯ドロップつまみ



●送り調節ねじ(模様の形の調節)



送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、 布送り機能をなしにすることができます。 ボタン付けなどを行うときに使用します。

※送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら送り歯ドロッ プつまみを「送り歯をあげる位置」にもどし、はずみ 車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認し てください。

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様の形が くずれて正しい形でぬえない場合があります。 実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形が くずれている場合は送り調節ねじで調節します。

キャップを外すと調節ができます。

キャップは、左側のすきまにドライバーを入れて外します。 (ミシン本体およびキャップに傷がつかないように注意し てください。)

取り付けるときは、キャップの欠けている部分を左側に して、取り付け部の突起に合わせてはめ込みます。

- ※ 図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件 での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ※ 送り調節ねじの位置をかえた場合は、ぬい終わったあ と標準位置(指示線が垂直位置)にもどしてください。

【模様の形の整え方】

図 1 のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図 2 のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを 「-」方向にまわします。

【文字の形の整え方】

図 1 のように文字がつまっているときは、送り調節ねじ を「+」方向にまわします。

図 2 のように文字が伸びているときは、送り調節ねじを 「-」方向にまわします。

図 1 のように左側があらいときは、送り調節ねじを「+」 方向にまわします。

図 2 のように右側があらいときは、送り調節ねじを「-」 方向にまわします。

●押さえの外し方、付け方



- ④ 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押して、 押さえを外します。
- ※ レバーを上から押さないでください。故障の原因にな ります。



【押さえの付け方】

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、 押さえ上げをゆっくりさげます。

※ 押さえは、模様に合ったものを使用してください。 押さえには記号が付いています。





●押さえホルダーの外し方、付け方





- ② ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ③ 押さえ上げで押さえをあげます。
- ④ 押さえホルダーのみぞを、うしろ側から押さえホルダ ー止めねじに合わせ、押さえホルダーを仮止めしてお きます。
- ⑤ 押さえ上げをさげ、押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじを右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

●上送り押さえのセット方法



● PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方





⚠ 注意

PD-H:フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、 必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから 行ってください。けがの原因になります。

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し て針をあげます。
- ② ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 11 ページをごらんください。
- ③ 押さえ上げをあげます。
- ④ 押さえホルダーを外します。
 押さえホルダーの外し方は15ページをごらんください。
- ⑤ 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト 押さえのピンを針止めの上にのせ、押さえのみぞを、 うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さ えホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
- ※ 取り付け後、押さえが傾いていない事を確認してくだ さい。針が押さえにあたり、けがの原因になります。
- ⑥ ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キーを押してミシンをロック状態にします。針と押さ え上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバー でゆるめ、フリーキルト押さえを取り外します。

●針板の外し方、付け方





B⊼ 48 % A ↔	1
	ک ۲۷۴
	Ĵ

〔警告メッセージ画面〕

こつようぬい (1/2)

<u>牛 // ---</u>

〔押さえ確認メッセージ画面〕

A 2.40 +



うぬい (1/2 <u>↓8</u> ‰ A ↔ r±t

2 40

【針板の付け方】

- ① ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイド を入れます。
- ② 針板右側にある 「◎ | マークが付いている場所を「パ チンと音がするまで指でしっかりと押しつけて、針 板を固定します。
- ※ 針板を取り付け後、押さえ確認メッセージが表示され ます。押さえを確認したあと、閉じるキーを押します。 また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が 針板にあたらないことを確認してください。
- ※ 押さえ確認メッセージが消えたら、ロックキーを押し て、ロックを解除します。
- ※ ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外 れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メ ッセージ画面が表示されています。 針板を取り付けたとき、このメッセージ画面が消える ことを確認してください。消えない場合は、もう一度 取り付け直してください。

Ï

●針の取りかえ



⚠ 注意

針の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し て針をあげます。
- ② ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 11 ページをごらんください。
- ※ 押さえは、さがった状態のままにしておきます。
- ③ 針止めねじを手前に 1~2回まわしてゆるめ、針を 外します。
- ④ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンに あたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっ かりしめます。
- ※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、す きまが針先まで均等に見えるのが良い針です。 針先が曲がったり、つぶれているものは使わないように してください。



●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の	種類	糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番~ 11番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル,ナイロン 50番~90番 綿糸 50番	11番~14番 または ブルー針,レッド針,パープル針 14番またはレッド針,パープル針
厚い布	デニム ツィード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番~50番 ポリエステル 40番~50番 ポリエステル 30番 綿糸 30番	14番~16番 または レッド針、パープル針 16番

※ ブルー針〔11番〕・レッド針〔14番〕・パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、 試しぬいをして確かめてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針(柄の部分が青色の針)およびパープル針(柄の部分が紫色の針)は、目とびの防止効果があります。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備 ★ボビンの取り出し



★糸こまのセット

【普通の糸こまの場合】









- ※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用し ないでください。
- 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角 板を外します。
- ② ボビンを取り出します。



糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に 出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さ えを押しつけて糸こまを押さえます。

- ※ 普通の糸こまには糸こま押さえ(大)を、小さい糸こ まには糸こま押さえ(小)を使います。
- ※ レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合には、市販の 糸こまネット使用をおすすめします。 糸外れや糸のよじれ防止効果があります。 糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げ るか、切って使用してください



図のような長さの糸こまを使用するときには、糸こま押 さえ(特殊)を使用することで、糸こまを固定すること ができます。

糸こま押さえ(特殊)は、図のように、糸こまを糸立て 棒にセットしたあと、糸こまの穴に入れてください。

※ 糸こまと糸こま押さえ(特殊)のあいだにはすきまが ないようにしてください。

★補助糸立て棒の使い方



★下糸巻き

(1)

糸巻き軸



ボビン

付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に 糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きをす るときや、2本針ぬいのときなどに使います。

補助糸立て棒の先端を糸案内カバーの方に向けて、補助 糸立て棒取り付け穴に差し込みます。

(正しい位置に差し込んだ場合、補助糸立て棒は回転しないで固定されます。)

糸こまの向きや固定方法は、「★糸こまのセット」(20ペ ージ)をごらんください。

※ 糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを最高 速(いちばん右側の位置)にセットしてください。

① 糸巻き軸にボビンを差し込みます。

- ② 糸を両手で持ち、糸案内カバーのすきまに「パチン」 と音がするまで押し込みます。
- ③ 糸案内(A)と糸案内(B)の順に糸をかけ、糸案内カ バーのうしろにまわして、必ず糸を強めに引いて、右 に引き出します。
- ※ 糸を補助ばねの下に確実に通すために、糸こま側の糸 を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてく ださい。 補助ばねの下を通していないと、糸巻き不良の原因に なります。





(4)

6)

(8)

- 糸切りホルダー
- うぬい (1/2) ボビン押さえ ╢ᅖ B⊼ ∔8 ‰ A ↔ 糸巻き中
- $(\overline{7})$ ボビン 糸巻き軸

糸切り

みぞ 〔糸巻き表示画面〕 ④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボ ビンに右まわり(時計方向)に4~5回巻きます。

- ⑤ボビンに4~5回巻いた糸を、ボビンの下にある糸 切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を 切ります。
- ※ みぞは3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

⑥ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。 ※ 画面が左の「糸巻き中」の表示になります。

- ⑦ ミシンをスタートさせます。 巻き終わるとボビンの回転が自動的に止まるので、ボ ビンの回転が止まったらミシンを停止し、ボビンを左 にもどします。
- ※ ボビン(糸巻き軸)は、必ずミシンを停止してからも どしてください。
- ※ ミシンを停止しないで放置しておくと、安全のために ミシンがスタートしてから約90秒で自動停止します。

⑧ 糸巻き軸からボビンを外し、糸切りで糸を切ります。

★ボビンのセット











⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ずロックキ ーによりミシンをロック状態にしてから行ってくだ さい。けがの原因になります。

- 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 11 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと 押さえをさげるときに、押さえ上げで押さえをさげる ことができません。
- ③ 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように 向けて(糸が左巻き)、ボビンを内がまに入れます。
- ※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。
- ④ ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さ えます。
 左手で糸の端を持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつのの下をくぐらせます。
- ※ 糸を各部に確実にかけるために、手順④が終了するま で、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。
- ⑤ つのの下をくぐらせた糸を矢印 1 の方向に引きあげ て矢印 1 の右側のみぞに入れます。
- ※ 手順④で、内がまの手前のみぞに糸がかかっていない と、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、ボビンか ら直接矢印1の右側のみぞに通ってしまいます。 (左図、【B】参照) その場合は手順④からかけ直してください。 正しくかけられていないと、ぬい不良の原因になりま す。
- ⑥ そのままみぞにそって矢印2の方向に糸を通し、下 側のカッターにかけてから右に水平に引いて糸を切り ます。
- ⑦ 角板を左側から合わせて取り付けます。
- ※ 通常は、下糸はこの状態のままでぬい始めることができます。

ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要があるとき は、「●下糸を針板の上に引き出す場合」(26ページ) をごらんください。









▲ 注意

上糸をかけるときは、必ずロックキーによりミシン をロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。

- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使 用してください。
- ※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右 手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引い てかけてください。

【準備】

- (1) 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンで針と天びん を上にあげます。
- (2) ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。 (押さえはさがった状態になります。)
- ※ ミシンがロック状態になっていないと、糸が正しくか けられず、ぬい不良の原因になります。
- ※ ロックキーの使い方は 11 ページをごらんください。

【上糸かけ】

- 糸を両手で持ち、糸案内カバーのすきまに「パチン」 と音がするまで押し込みます。
- ② 右手で糸こま側の糸を押さえ、左手で糸案内(A)と 糸案内(B)の順に糸をかけ、みぞにそって手前に 「パチン」と音がするまで強めに引き出します。
- ③糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。
- ④ 天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを 通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

⑤ アーム糸案内に右からかけます。

- ⑥ 針棒糸かけに右からかけます。
- ⑦ 糸通しを使って針穴に糸を通します。
 糸通しの使い方は 25 ページをごらんください。



※ 針は11番~16番、糸は50~90番が使用できます。

- ※2本針のときは、糸通しは使えません。
- ① 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押し、針と天
- ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。 (押さえはさがった状態になります。)

③糸を糸ガイドの上を通し、左に引きあげます。 ※ 糸が糸通しのみぞを通っていることを確認します。

④ 引きあげた糸を、ミシンの面板に付いている糸切りに 手前から向こう側にかけ、切ります。 糸が糸押さえで保持されます。

⑤ 糸通しレバーを止まるまでさげます。

- ⑥ 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が引きあげら
- ⑦糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて 針穴から糸の端を引き出します。
- ※ 糸の輪ができず、フックに引っかかってしまう場合、 そのまま糸をうしろに引き出します。

●下糸を針板の上に引き出す場合



ギャザーやスモッキングなどをぬう場合のように、ぬい 始めの下糸を長くする必要があるときだけ、下記手順① ~④の方法で下糸を針板の上に引き出してください。

- ●下糸の準備/★ボビンのセット」手順③~⑤(23 ページ)と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあ げてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側 に引き出しておき、角板を取り付けます。
 (糸は、下側にあるカッターで切らないでください。)
- ② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえておきます。

 ③ 電源スイッチを入れ(ロック状態の場合はロック状態 を解除し)、上下停針ボタンを押して針をさげ、もう 一度押して針をあげます。
 上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

④ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cm ほど引き出して、そろえておきます。



3

(4)





21 2

Ī

Μ

電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画になり ます。

じつようぬいグループは、21個の模様(模様番号1~ 21) があり、2つのページ(画面)に分かれていて、ペ ージキーで選択できます。

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・ 先頭キーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や 設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(10ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。

選ばれている模様によっては、グレー表示になっていて 使用できない設定キーがあります。

① 調節キー

(1)

セット

+

(+

2.50

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。調節 画面ではぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)、 ぬい目のあらさ、糸調子の設定値を変更したり、押さ え圧の設定などを行うことができます。 (28~32ページ参照)

② ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。 ピボットぬいを設定すると、ミシンを止めたときに針 が布にささり、押さえがあがった状態になります。 ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる 必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことが できます。

③2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、 キーを押して2本針ぬいに設定します。 使い方は、「◎2本針ぬい」(113ページ)をごらん ください。

④上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行うとき に、キーを押して上送りぬいに設定します。 (35ページ参照)

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 使い方は、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/★模 様頭出しキーの使い方|(68ページ)をごらんください。

頭出し +-

〔模様選択画面〕



〔調節画面〕



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示 されます。

【例】直線ぬい

- ゆい目の幅調節キー ぬい目の幅(直線状模様の場合は針位置)をかえることができます。(29ページ参照)
- ② ぬい目のあらさ調節キー ぬい目のあらさをかえることができます。 (30ページ参照)
- ③ **糸調子調節キー** 上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができま す。(31ページ参照)
- (④) 押さえ圧調節キー 模様を選ぶと、画面にその模様の代表的なぬいに適した押さえ圧 Auto(オート)が表示されます。 布送りがスムースでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、数値を調節してください。
 - ※ 一般的な押さえ圧が Auto (オート) と表示されている場合は、普通地、厚物地は「Auto + 1 ~+ 4」薄物地や伸縮性の布地は「Auto 1 ~- 4」の範囲で調節してください。
 - ⑤ 初期化キー(DFT キー) ぬい目の幅、ぬい目のあらさ、糸調子、押さえ圧を変 更した場合、オート値(電源を入れたときに自動的に 設定されている値)にもどすことができます。
 - ※ もとの画面にもどるときは、調節キーを押してください。

★ぬい目の幅調節キー



ぬい目の幅調節キーでぬい目の幅(直線状模様の場合は、 針位置)をかえることができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目 の幅が広くなります。 直線状模様の場合は、針が右へ移動します。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目 の幅がせまくなります。 直線状模様の場合は、針が左へ移動します。

初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに自動的に設定されている値)にもどすことができます。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。 直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。 よ子位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。



★ぬい目のあらさ調節キー



ぬい目のあらさ調節キーでぬい目のあらさをかえること ができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目 のあらさがあらくなります。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目 のあらさが細かくなります。

初期化キーを押すと、オート値(電源を入れたときに自 動的に設定されている値)にもどすことができます。

※ ぬい目のあらさは、布や糸によりかわりますので、画 面表示の数値は目安としてミリメートルで表示してい ます。 また、返しぬいのぬい目のあらさは、表示数値より小

まに、返しぬいのぬい日ののらさは、表示数値より小 さくなります。

★糸調子調節キー





【上糸が強すぎる場合の調節】



【上糸が弱すぎる場合の調節】





模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされ、上糸と下糸がバランスよくぬえます。 糸や布の種類、ぬい方などによって自動セットのままで は糸調子のバランスがとれない場合は、糸調子調節キー で調節します。

- ※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたな くなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりしま す。
- ※ 画面には、糸調子が自動セット状態の場合は「オート」、 糸調子調節キーで調節されている場合は「マニュアル」 と表示されます。
- ※ 模様ごとに自動セットされる糸調子(オート値)を、 すべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くした りすることができます。 「◎ミシンの設定/【通常ぬい設定】①糸調子」(125 ページ)をごらんください。

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわ ります。

ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくら いになります。

【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。 糸調子調節キーの「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。 上糸が布の表でたるんだり、輪になる場合もあります。 糸調子調節キーの「+」を押して数値を大きくします。

布地の裏がタオル地のようになる場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のように なるのは、上糸の調子が弱いか、上糸のかけ方が間違っています。 上記で上糸を調節するか、上糸を正しくかけ直してください。 「◎ぬう前の準備/●上糸の準備/★上糸かけ」(24ページ)参照

●ぬい日の幅(針位置)、ぬい日のあらさ、糸調子のオート値の変更

(1)

〔調節画面〕

「ステッチの調整値を保存 (FS) が 「ステッチの調整値を保存 (FS)」 が「ON」に設定されている場合 「OFF」に設定されている場合





FS +-

(2) じつようぬい (1/2) 直線めい 7.0 □ 🕂 - 3.00 + + Î DFT FS FS +--



セットキーにより、通常ぬい設定の「ステッチの調整値 を保存 (FS) | を 「ON | に設定しておくと、ぬい目の幅 (針 位置)、ぬい目のあらさ、糸調子のオート値(電源を入れ たとき、ミシンに自動的に設定されている値)押さえ圧 をお好みの値に変更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておくと、その 模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

- ※ セットキーによる 「ステッチの調整値を保存 (FS)| を「ON」に設定する方法は、「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】⑧ステッチの調整値を保存(FS)| (127ページ)をごらんください。
- ① セットキーにより、「ステッチの調整値を保存 (FS)」 が「ON」に設定されていると、FS キー(オート値 設定キー)が表示されます。
- ※ 初期の状態(購入時の設定状態)は、「OFF」に設定 されています。
- ② 調節画面の調節キーにより、設定したい項目の数値を 変更します。 左図の例では、針位置を「4.5」から「7.0」、ぬい目 のあらさを「2.40」から「3.00」に変更しています。
- ③ 手順②の画面で FS キーを押します。 保存キーと取り消しキーが表示されているウインドウ 画面が表示されます。
- ④ 手順③の画面で保存キーを押ます。 ウインドウ画面が消え、数値を囲む枠が黄色に塗られ て、針位置のオート値が「7.01、ぬい目のあらさの オート値が「3.00」に設定されたことを示します。

【変更したオート値を初期の状態にもどす方法】

手順③の画面で取り消しキーを押します。 数値を囲む枠の黄色が消え、オート値(電源を入れたと き、ミシンに自動的に設定されている値)が初期の状態 (購入時の設定状態) にもどります。

※ 変更した全模様のオート値を一括して初期の状態(購 入時の設定状態)にもどす方法は、「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】⑧ステッチの調整値を保存(FS)」 (127ページ)をごらんください。



DFT FS

(4)

じつようぬい (1/2)

黄色に塗られて、 オート値が初期の 状態から変更され ていることを示し ます。

●直線(直線状模様)ぬい

★直線ぬい(中針位置)

返しぬい ボタン



F:サテン押さえ

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側に引き出 して、押さえで押さえます。 ただし、F:サテン押さえ、F2:クラフトF押さえや R:ボタンホール押さえなどのように、押さえの向こ う側(うしろ側)の底があがっていて、糸を押さえる 部分がない押さえは、ぬい始めの糸は横方向に引き出 して押さえてください。



上糸

【厚手の布端のぬい始め】

- 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを 押し込みます。
- ② 黒ボタンを押したまま押さえ上下移動ボタンを押して 押さえをさげます。
- ③ 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
- ※黒ボタンを押した状態で押さえをさげると押さえが水 平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることがで きます。 ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由 に動く状態になります。



【ぬい方向の変更】

- ① 布の方向をかえる位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合は、上下停針ボタンを押し て針を布にさし、押さえ上下移動ボタンで押さえをあげ ます。
- ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動ボ タンで押さえをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれずにきれいにぬうことができます。
- ※ ミシンを停止したとき、常に自動的に針が布にささり、 押さえがあがった状態になるピボットぬいを設定する ことができます。ピボットぬいは「●実用ぬいの画面/ 【設定キー】/②ピボットぬい設定キー」(27ページ)をご らんください。

【ぬい終わり】

- ゆい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタンを押して糸を切ります。
- ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタンを 押すと針と押さえは上の位置に移動します。
- ③布を向こう側に引き出します。

※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動

返しぬい模様 1 と自動止めぬい模様 3 がありま す。 「★自動返しぬい」「★自動止めぬい」(36ページ)をご らんください。

面板の糸切りの使い方

30番および 30番より太い糸や特殊な糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを 使用してください。

針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。


★上送り押さえの使い方

上送りぬい切りかえキー



〔メッセージ画面〕 ^{:っょうぬい} (1/2)



閉じるキー





上布と下布でずれやすい布地や皮など送りにくい布地を ぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうこと ができます。

上送り押さえが使用できる模様は、早見板に表示されて いる青い表示の模様です。

【準備】

- ① 上送りぬい切りかえキーを押します。
- ※ メッセージ画面が表示されますので、閉じるキーを押して、上送り押さえホルダーと AD: 上送り押さえを 取り付けてください。
- ② 上送り押さえホルダーを取り付けます。
- ※ 上送り押さえホルダーの取り付け方は、「◎操作方法
 /●上送り押さえのセット方法」(16ページ)をごらんください。

※ 上送りぬいを解除する場合は、上送りぬい切りかえキ ーを押してください。

【ぬい方】

上糸を押さえの下に通して向こう側に引き出し、ぬい始 めます。

※ しま地や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の 端と最初のしまをぬい目のはじめのところで注意深く そろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。



<u>上布と下布がずれる場合</u>

上布と下布でずれる場合は、上送り調節ダイヤル をまわして調節します。

A 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤル を「+」方向にまわします。

B 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「-」方向にまわします。

※ 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルの位置を「O」の位置にもどしてください。

★自動返しぬい





ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め(返し ぬい)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停 止します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フッ トコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針 返しぬいを行ってミシンが停止します。 運転したままボタンを押した場合は、その位置から自動 的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★自動止めぬい

① 模様	- R
② 押さえA : 基本押さえ	

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め(止めぬ い)を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止 します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転 したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フッ

トコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止 めぬいを行ってミシンが停止します。 運転したままボタンを押した場合は、その位置で自動的

に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。





★針板ガイドの使い方



針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドが いろいろ表示されています。

【ガイドライン】

布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から 正確な位置にぬうことができます。

ガイドラインの数字は、ぬい位置(針板の穴の中央)か らガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」 で表示しています。

※ ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも 表示されています。



【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピース作りに使うと便利 です。

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ 0.65cm(1/4インチ)のぬい始めの位置を決めることができます。

※ 使い方は、「◎用途選択/●パッチワーク/〔針板角 度目盛りの使い方〕欄」(103 ページ)をごらんくだ さい。



布端から 1.6cm(5/8 インチ)のところで直角にぬい 方向をかえるときに利用します。 ぬい方向をかえたあと布端から 1.6cm(5/8 インチ) の位置にぬうことができます。

- 布端がコーナーリングガイドのところにきたらミシン を停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタンで押さえ をあげ、布を直角に回転させます。
 布端が針板右側のガイドライン 1.6cm (5/8 インチ)の位置に合います。
- ③ 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタ ートさせます。



★直線ぬい用針板の使い方

〔直線ぬい用針板〕



〔メッセージ画面〕



閉じるキー

じつようぬい (1/2)					
╇║┉					
B∡	78	8	A	⇔	1
φ	1 	۲ ²	• 3	! ⁴	
	φ	Ġ	÷	φ́⊐	\bigcap
		4 M	4 L	M	2 tyr
	$\leq^9 R$				
P	\$	Ξ	4.5	+	Ĵ
A		$\overline{}$	2.40	+	
			Þ	•	

〔模様選択画面〕

直線ぬい用針板で ぬうことができる 模様



針板の穴の小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針が 布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく 仕上がります。

直線ぬいの場合は、模様 ↓↓↓ を選び、直線ぬい用針板 でぬうことをおすすめします。

- ※ 針板の交換方法は、「◎操作方法/●針板の外し方、 付け方」(18ページ)をごらんください。
- 1/4" | P | ⊂() 7mm | P | ⊂() ф Р d⊃ ф ※ ミシンの早見板の直線模様 10 45 55 65 70 oc は、じつようぬいグループとキルトグループにある模様 ↓ ↓ ↓ ↓ ¹/_↓ ¹/_↓ ¹/_↓ と同じ模様です。 02 03 04 01 02 03 04 直線ぬい用針板が使用できるという意味で、模様番号 の末尾に「S」を付けています。

ロックキーを使用してロック状態で直線ぬい用針板に交換すると、メッセージ画面が表示されます。正しい押さ えが取り付けられているか確認してください。 メッセージ画面の閉じるキーを押し、ロックキーを押し てロック状態を解除すると模様選択画面にもどり、ぬう ことができます。

- ※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、じつ ようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グ ループの一部の模様しか選択できません。 選択できない模様は、模様選択キーの色がグレーにな っていて、押しても受け付けられないようになってい ます。





しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送 られずに、1 針ぬって停止します。(フットコントローラ 一の場合も、踏み続けていても1 針ぬって停止します。)

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても 針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1 針ずつ手で布を移動させてぬうこ とができます。

押さえホルダーを外し、PD-H: フリーキルト押さえを取り付けます。

※ 押さえホルダーの外し方は、「◎操作方法/●押さえ ホルダーの外し方、付け方」(15ページ)、● PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方」(17ページ)を ごらんください。

【ぬい方】

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピン と張ってぬいます。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を 向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

<u>フットコントローラーの利用</u>

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手 が使えて便利です。

※ フットコントローラーは、モデルによりオプションに なります。









伸縮性布地(ニット地など)のかがりに使います。

縁かがり押さえを使用する場合は、布端を押さえのガイ

基本押さえを使用する場合は、ぬいしろを少し多めにと ってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。





- ①ふちを折り曲げ、布の折り目にそってぬいます。
- ② 布の裏側の余分なところを、ぬい目近くで切り落 とします。

●バック直線ぬい





直線ぬいを通常の布の進む方向と逆方向にぬう(バックぬい)模様です。

布を回転しにくいときの繰り返しの往復ぬいに便 利です。また、返しぬいボタンを押す必要がない ため、両手を使って布を案内することができます。

模様 [1] で必要なところまでぬい、模様 [1] を

選んで、もどる方向をぬいます。





- 布端と布端の間かくを 0.5 ~ 0.6cm あけて、 下にあて紙を置きます。
- ② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
- ③ あて紙を取ります。

◎ボタンホール・特殊模様

●ボタンホール・特殊模様の画面

〔実用ぬいの模様選択画面〕(1/2ページ)

実用ぬい/ボタンホールキー



〔ボタンホールの模様選択画面〕(1/2ページ)



〔ボタンホールの模様選択画面〕 (2/2ページ)



実用ぬい/ボタンホールキーを押すと実用ぬいグループ の模様選択画面になり、実用ぬいの初期画面からページ キー(右側)を2回押すと、ボタンホールグループの模 様選択画面になります。 ボタンホールグループは、11個の模様(模様番号1~ 11)と4種類の特殊模様(模様番号12~15)があ ります。

2 つの画面(ページ)に分かれていて、ページキーで選 択できます。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選 択キーや調節キーなどのキーの他に、選ばれている模様 に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されてい ます。

- ※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(10ページ)をごらんください。
- ※ 調節キーを押すと、調節画面になります。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。 特殊な使い方については、このあとのそれぞれの模様 の項の説明をごらんください。
- ※ボタンホール、特殊模様は、模様が完成するとほつれ 止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ※ 模様頭出しキーの使い方は、「◎飾りぬい/●模様組 み合わせモード/★模様頭出しキーの使い方」 (68 ページ)をごらんください。

●ボタンホールの種類と用途

	スクエアボタンホール	普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。		
	メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)	自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬうことができます。		
D ³	片ラウンドボタンホール	薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使わ れます。		
	両ラウンドボタンホール	薄い布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。		
₽ ₂	キーホールボタンホール	普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。		
P	ラウンドキーホール ボタンホール	┃ 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます		
ß	キーホールボタンホール (テーラーメイド)	模様5~6と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を 補強したボタンホールです。		
8	ニットボタンホール			
9	ニットボタンホール	1甲楠11100のつかに適したホタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使われます。 ※ 模様 10 は薄い布用です。		
	ニットボタンホール			
11	たまぶちボタンホール	たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。		

模様 (くモリーボタンホール)を除くボタンホールは、R:ボタンホール押さえにボタンをセットするだけ で自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタン ホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

- ※ ボタンの直径が 1.0 ~ 2.5cm までのボタンホールができます。
- ※ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

ボタンホールの注意事項

- ・ 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- ・ 厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- ・ 使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク(しるし)を付けてください。

●スクエアボタンホール





- ボタンホール押さえのボタン受け台(ボタンホルダー)
 を [A] 方向へ引き、ボタンをのせて [B] 方向にも どしてはさみ込みます。

ボタンホール長さの微調節方法

ボタンホールを少し長めにぬいたいときは、ねじを[C] 方向にまわして指示線を「L」側にします。 ボタンホールを少し短かめにぬいたいときは、ねじを[D] 方向にまわして指示線を「S」側にします。

※ ぬい終わったあとはねじをもとの位置(指示線を目盛 りの中央の位置)にもどしてください。



- ② ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。
- ※ 押さえの取り付け方は、「◎操作方法/●押さえの外 し方、付け方」(14ページ)をごらんください。



- ③ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に 引き出します。
 上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマ ークのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。
- ※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。(下記〔ぬい始める前の確認〕欄参照)
- ④ ボタンホール切りかえレバー(BH レバー)を止まる までいっぱいに引きさげます。

ぬい始める前の確認

ぬい始める前に押さえスライダーとストッパーのあい だにすきまがないことを確認してください。 すきまがあると、ぬい終わったときにぬい位置がずれ る場合があります。



(5)



⑤ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。(ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。)

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止 めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。



【ぬい順序】

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
 ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。
- ※ ボタンホールの重ねぬいをする場合には、そのまま スタート/ストップボタンを押してぬいます。 重ねぬいをしない場合には、押さえ上下移動ボタン を押して、押さえをあげます。

ボタンホールの重ねぬい

ボタンホールをぬい終わったところで押さえ上げをあげずにもう一度ミシンをスタートさせると、ボ リューム感のあるボタンホールの「重ねぬい」ができます。

「重ねぬい」は、必ず押さえ上げをあげずにそのままの状態でミシンを再スタートさせてください。 ※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。



ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバー(BHレバー)をさげないでミシン をスタートさせると、少しだけぬってミシンは停止します。この ときメッセージ画面が表示されます。 ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタート させてください。

- (6) ボタンホール切りかえ レバー ⑦ まち針 かんぬき ラインタック カんぬき
- ⑥ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱいに押しあげてもどします。

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパー で左右のラインタックの糸を切らないようにボタン穴 を切り開きます。

★ボタンホールの調節画面

〔調節画面〕



①《ボタン穴の幅の調節》



②《ぬい目の幅の調節》

	
	www.
\sim	<u> </u>

③《ぬい目のあらさの調節》



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示 されます。

- ① ボタン穴の幅調節キー ボタン穴の幅(ボタンホールの中幅)をかえることが できます。
- ゆい目の幅調節キー ボタンホール全体の幅をかえることができます。
- ③ **ぬい目のあらさ調節キー** ぬい目のあらさをかえることができます。
- ④ 糸調子調節キー
 上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

⑤ 押さえ圧調節キー

押さえ圧をかえることができます。

※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。





〔段部近くの場合〕



② 〔ぬい始める前の画面のメッセージ〕

Π

- 5.0 +



メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で 決めてぬうボタンホールです。

※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。

- ※ 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い 布の段部の近くをぬうときなど R:ボタンホール押さ えを使用できない場合は、F:サテン押さえを使用し てください。
- ※幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール/
 ★ボタンホールの調節画面」(49ページ)をごらんください。

【ぬい方(R:ボタンホール押さえの例)】

- ボタン受け台(ボタンホルダー)を向こう側にいっぱ いに引き出します。
- ② ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。
 上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマ
 一クのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。
- ※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「●スクエアボタンホール」の 手順②③⑤(46~47ページ)をごらんください。 (ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。)
- ③ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。(ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。)

左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシン を停止し、返しぬいボタンを押します。

ぬい始めの位置

返しぬいボタン

④〔ぬい中の画面のメッセージ〕



⑤〔ぬい中の画面のメッセージ〕



⑥ 〔ぬい中の画面のメッセージ〕



⑦〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



④ ミシンをスタートさせると、下ぬいを行います。
 ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

 ⑤ ミシンをスタートさせると、かんぬきと右側のライン タックをぬいます。

必要な長さの位置にもどったらミシンを停止し、返し ぬいボタンを押します。

⑥ ミシンをスタートさせると、かんぬきと止めぬいを行い、ミシンが自動的に停止します。

- ⑦ ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。
 ミシンは、手順③~⑥でぬったボタンホールの長さを
 記憶しています。
 - 別の場所に同じ長さのボタンホールをぬう場合 は、この画面の状態のまま布の位置をかえて ミシンをスタートさせます。
 返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのボタ ンホールを自動的にぬってミシンは停止します。
 - 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合
 は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消す
 と、記憶しているボタンホールサイズは取り消
 されます。



厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうとき にボタンホール安定板を使用すると、布送りをスムーズ にしてぬうことができます。

【使い方】

ガイド

 ボタンホール押さえの取り付け穴に、ボタンホール安 定板のガイド部分を差し込みます。

- ② ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえ をミシンに取り付けます。
- ③ 押さえをあげ、上糸を押さえの穴から下に通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。
- ④ 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボ タンホール安定板のあいだに布を入れます。
- ※ ぬい方は、「★スクエアボタンホール」と同じです。 46~48ページをごらんください。



<u>布がボタンホール切りかえレバーに触れて、</u> <u>うまくぬえない場合</u>

弾力性のある厚い布(フリースなど)をぬう場合、布 を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえ レバーに触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえない ことがあります。

このような場合は、布を送るときに布が浮きあがらな いようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用 してぬってください。

② ③ 押さえの穴 上糸

ボタンホール押さえ

取り付け穴

ボタンホール安定板



(1)

ボタンホール安定板









さげます。



〔模様選択画面〕



【形の整え方】

つくろいぬい(ダーニング)のぬい始め(左側)とぬい 終わり(右側)の高さがそろわないときは、高さ調節キ ーで調節します。

「1.0」~「9.0」の範囲で調節できます。 (「5.0」はオート値)

- 左側が低い場合は、「-」を押します。
 …「1.0」~「4.0」
- 右側が低い場合は、「+」を押します。
 …「6.0」~「9.0」









ぬい始めの位置



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい 部分などを補強します。

- ** 模様 よ、模様が完成するとほつれ止めの止めぬ いを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停 止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上 の位置で停止します。)
- ゆい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいま す。
- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5cm の長さのかんぬきをぬうことができます。
 1.5cm より短い長さでぬう場合は、下記【1.5cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。
- ※ ぬい目の幅やあらさは、調節画面のぬい目の幅調節キ
 ーとぬい目のあらさ調節キーでかえることができます。
 (ぬい目のあらさをかえると、自動でぬえる最大長さ
 [1.5cm] もかわります。)

【1.5cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。 押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停 止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシン はぬった長さを記憶しています。

 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の 状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせま す。

返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動 的にぬってミシンは停止します。

- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキー を押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さ は取り消されます。
- ※ かんぬきの長さが 0.7cm、1cm、1.2cm の固定値 の場合は、用途選択の模様から選ぶと、返しぬいボタ ンを押さなくても自動的にぬうことができます。 「◎用途選択/●かんぬき」(100 ページ)をごらん ください。







- ※ アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
- ゆい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを 押して、押さえをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいま す。
- ※ ぬい目の内側は、パンチ(市販品)などで穴を開けます。 パンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものを ご使用ください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合は、形状調節 キーで調節します。

「S1」と「S3」で調節できます。(「S2」はオート値)

- ぬい目にすきまがある場合は、「-」を押して 「S1」にします。
- ぬい目が重なる場合は、「+」を押して「S3」
 にします。



〔模様選択画面〕

飾りぬいキー



〔模様グループ選択画面〕(1/2ページ)



〔模様グループ選択画面〕(2/2ページ)



飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを 選ぶ選択画面になります。 飾りぬいの模様グループは、9個のグループがあり、 2つのページ(画面)に分かれていて、ページキー で選択できます。

①アップリケグループ

アップリケキーを押すと、アップリケなどに使用 する模様グループの模様選択画面になります。 アップリケグループは、14個の模様とスペース 模様および自動止めぬい模様があります。

アップリケのぬい方は、「◎用途選択/●アップ リケ」(100~101ページ)をごらんください。

②かざりもよう 1 グループ

かざりもよう1キーを押すと、伝統的な飾り模様 グループの模様選択画面になります。 かざりもよう1グループは、28個の模様とスペ ース模様および自動止めぬい模様があり、3つの ページ(画面)に分かれていて、ページキーで選 択できます。

③キルトグループ

キルトキーを押すと、キルトなどに使用する模様 グループの模様選択画面になります。 キルトグループは、51 個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があり、6 つのページ (画面)に分かれていて、ページキーで選択でき ます。

キルトのぬい方は、「◎用途選択/●パッチワーク、 ●キルティング」(102~112ページ)をごら んください。

④サテングループ

サテンキーを押すと、サテン(ぬい目を密着させ た模様)グループの模様選択画面になります。 サテングループは、14個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。 サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グル ープと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の 長さを2~5倍にかえることができる模様長さ 調節機能があります。

模様長さ調節機能の使い方は、74 ページをごらんください。

〔模様グループ選択画面〕(1/2ページ)



〔模様グループ選択画面〕(2/2ページ)



⑤ つなぎもようグループ

つなぎもようキーを押すと、模様と模様の間かくをあ けるためのつなぎもようグループの模様選択画面にな ります。

つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様 および自動止めぬい模様があります。

つなぎ模様の使い方は、75ページをごらんください。

⑥ かざりもよう 2 グループ

かざりもよう2キーを押すと、装飾的なかざりもよ う2グループの模様選択画面になります。 かざりもよう2グループは、60個の模様とスペー ス模様および自動止めぬい模様があり、6つのページ (画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑦ロングステッチグループ

ロングステッチキーを押すと、ロングステッチグルー プ(1つの模様の長さが長い装飾模様)の模様選択画 面になります。 ロングステッチグループは、9個の模様とスペース

模様および自動止めぬい模様があります。

⑧ ワンポイントグループ

ワンポイントキーを押すと、具象的な飾り模様(形が はっきりした模様)グループの模様選択画面になりま す。

ワンポイントグループは、14 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、2 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑨ プレイグループ

プレイキーを押すと、遊び心が入った飾り模様グルー プの模様選択画面になります。 プレイグループは、7個の模様とスペース模様およ び自動止めぬい模様があります。

※ 付属のステッチコンポーザーで作成した模様が読み込まれると、「模様グループ選択画面」にユーザー作成模様のキーが表示されます。 ステッチコンポーザーの使い方は、ステッチコンポーザーの画面にあるヘルプをごらんください。

<u>キルトグループ 2/6 ページの例</u> 設定キー (5) (2) (3) (4) (2/6)飾りぬい +-模様 Γ^{-1} 78 А 頭出しキー 14 12 13 Ş * ¥ 15 18 ŝ \mathbf{i} ‡ 模様選択 セット +-19 ll and a second € L.S ł **•** : (6) Ŧ - 9.0 + - 2.50 +

〔模様選択画面〕

様選択画面になります。 模様選択画面が 2 つ以上のページ(画面)に分かれてい る場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様の画面と同様、模様選択キ ー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれて いる模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

模様グループ選択キーを押すと、その模様グループの模

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(10ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。

① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。 (27 ページ参照)

②模様組み合わせキー

模様を組み合わせてぬうときに、キーを押して模様組 み合わせモードに設定します。(64ページ参照)

③左右反転キー

選んだ模様を左右反転した形でぬうことができます。 (66~67ページ参照)

④上下反転キー

選んだ模様を上下反転した形でぬうことができます。 (66 ~ 67 ページ参照)

⑤2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、 キーを押して2本針ぬいに設定します。 使い方は、「◎2本針ぬい」(113~114ページ) をごらんください。

6 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示になります。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28 ページ)をごらんください。

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬう ときにその模様の最初からぬうことができます。 模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと ができます。(68ページ参照) 〔模様選択画面/通常モード〕 <u>キルトグループ 2/6 ページの例</u> 模様組み合わせキーの状態:



〔模様選択画面/模様組み合わせモード〕

模様組み合わせキーの状態: 模様組み合わせキー ① ② キルト(2/6) ╇|\$<u>२</u>|0|) (3)-18 P-t 8 A 14 ₩ ₩ 2∿2 13 *** 5 カーソル-18 * ¥ ‡ ŧ ակեր .⊙ Ĵ . (3)-F Щ 4

設定キーの模様組み合わせキーを押すと、通常モードの 模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面 にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

- 通常モードでは選んだ模様を1つだけ繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの 模様を組み合わせてぬうことができます。
 - 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グ ループと文字ぬいの模様グループです。
 - ※ 文字ぬいの模様グループは、「◎文字ぬい」(76 ページ)をごらんください。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(70ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモ リに保存することができます。(115ページ参照)

【模様組み合わせモードの画面】

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、 2本針ぬい切りかえキーがなくなり、削除キー、保存キ ーおよび組み合わせた模様を確認したり選択するための カーソル移動キーが画面上に追加されます。

- ※ 模様組み合わせモードは、2本針ぬいができません。
- ① 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。 模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下 側にある場合は、最後の模様を削除することができま す。(70ページ参照)

②保存キー

組み合わせた模様をミシンに保存したり、USBメモ リに保存するときに使います。 使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し/●模様 データの保存」(115ページ)をごらんください。

③ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。 (70ページ参照)

★模様組み合わせぬいの例

模様組み合わせキー (模様組み合わせモードの状態)



- 様様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2グ ループの模様
 [№]
 を選びます。
- ② 模様 [◎] を選びます。
- ③ 模様 🔀 を選びます。 20

- ④ ミシンをスタートさせると、3つの模様を繰り返しぬいます。
 ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ※ 止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法/●操作ボ タン/【止めぬいボタン】」(9ページ)をごらんく ださい。



★反転キーの使い方



左右反転キーまたは上下反転キーを使うと、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。

左右反転と上下反転を組み合わせることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 できます。

※上下反転できる模様は、ミシンの早見板に表示されている模様を四角に塗って表示しています。 また、通常モードの場合は、上下反転できない模様が 選ばれているとき、上下反転キーの色がグレーになっています。

〔早見板/ワンポイントグループの例〕



【左右反転、上下反転のぬい方】(通常モードの例)

- ① 模様を選びます。
 (ワンポイントグループの模様 2000)
 の例)
- ② 模様を左右反転した形でぬう場合は、左右反転キーを 押します。左右反転キーが黄色表示になります。
- ※ 左右反転キーをもう一度押すと解除されます。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合は、上下反転キーを 押します。上下反転キーが黄色表示になります。
- ※ 上下反転キーをもう一度押すと解除されます。
- ④ 模様を左右反転と上下反転を組み合わせた形でぬう場合は、左右反転キーと上下反転キーを押します。
 画面の左右反転キーと上下反転キーが黄色表示になります



反転機能のご注意

通常モード・組み合わせモード共に、左右および上下反転キーで反転させたとき、反転キーをもう一度押し て反転マークを取り消すまで反転機能の設定は継続します。(次の模様を選んでも反転した形になります。) ただし、上下反転機能の場合は、上下反転に設定された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機 能の設定が取り消されますのでご注意ください。





13

60

9.0 +

- 2.50 +

4 B

.⊙

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシ 〔ミシンを停止したときの画面〕

● L.S

1

ンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬ うことができます。 通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用 А Ŷ P⁻¹ できます。 13 Ê 4 模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初 6 18 または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうこと 100

ができます。 【例】模様組み合わせモードで、かざりもよう 2 グループの模様 を組み合わせ

【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】

① 組み合わせた模様のぬいイメージ。

てぬっている場合

- ② ミシンを停止した位置。
- ③模様頭出しキーを押します。
- ※ 模様頭出しキーを押すと、表示が BT にかわります。
- ④ ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3) 番目の模様)の最初からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が B→ のとき、ぬい途中の模 様の最初からぬいます。

模様頭出しキー

J, F

18 8 A

<u></u>₹<u>₹</u>{<u>₹</u>

୭୭

Ŭ

\$ ÷

B⊼



(5) 組み合わせた模様 の最初からぬう K © \$ K K S

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

- ④ 上記、【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】の手順 ③で模様頭出しキーを押すと、表示が BT にかわる ので、もう1回模様頭出しキーを押します。
- ※模様頭出しキーを2回続けて押すと、表示が B▼ に かわります。
- ⑤ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初 (1番目の模様)からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が Bへ のとき、組み合わせた 模様の最初からぬいます。



模様組み合わせモード設定中は、模様のぬいイメージが 表示される場所がキーになり、ぬいイメージを表示する 場所で表示しきれないすべての模様を一覧表で確認(プ レビュー)できます。

【プレビュー機能の使い方】

- ② 模様のぬいイメージが表示される場所を押します。





- ③ 模様一覧の画面にかわり、組み合わせた模様のすべて が確認できます。
- ※ すべての模様が 1 ページ(1 画面)で表示されない 場合は、ページキーを押して次のページ(画面)に切 りかえます。
- ④ 確認が終わったら、閉じるキーを押して模様選択画面 にもどします。



模様組み合わせモード設定中は、編集機能を利用すると、 模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合 わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、 模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあらさな どの設定値を変更したりすることができます。

【編集機能の使用例】

 ① 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう 2 グ ループの模様 ^{№1} [⊗] № を組み合わせた直後の画面。 18 19 20

- ② カーソル移動キー
 イメージの模様
 ③ にカーソルを合わせます。
 カーソルの付いた模様が青色にかわります。
- ※ カーソルを模様の先頭側に移動する場合は ▲ キー、模様のうしろ側に移動する場合は ▼ キーを 押します。

③ 削除キーを押します。
 カーソルの付いている模様
 ¹⁹
 ルは次の模様
 ²⁰
 が削除され、カーソ






- ④ 模様 ^k₁ を選びます。
 模様 ^k₂ と模様 ^k₂ のあいだに模様 ^k₂ が追加されます。
- ※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様(青色の模様)に対してできます。 また、カーソルの付いている模様(青色の模様)の前に新しく選んだ模様が追加されます。
- ⑤ カーソル移動キーを2回押して、画面のぬいイメージの模様 [№] にカーソルを合わせます。

- ⑥ 調節キーを押して調節画面にし、ぬい目の幅の設定値 を「9.0」から「5.0」に変更します。
- ※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。

 ⑦ 模様 約 のぬい目の幅が変更できました。
 18

★模様全長表示機能





模様組み合わせモード設定中は、模様を1つだけぬった とき、または組み合わせた模様をぬったときの全長(目安) を知ることができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、 および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補 正しておくと、次回確認するときに実際のぬい長さに、よ り近い表示になります。

※一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み 合わせ模様(文字ぬいを含む)にも適用されます。ま た、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されていま す。

補正後に、ぬい条件の大きく異なるぬいで模様の全長 を知りたい場合は、再度、同じような条件で試しぬい をして表示されている数値を補正し直してください。

【模様全長表示機能の使用例】

- 様様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2グル -プの模様
 ¹⁸
 ¹⁹
 ²⁰
 ²⁰
 を組み合わせた直後の <u>19</u>
 ²⁰
 <u>20</u>

 <u>19</u>
 ²⁰
 <u>21</u>
- ② 調節キーを押して調節画面にし、調節画面の中の全長 表示キーを押して、模様の全長表示画面にします。 この画面で自動止めぬい模様を含めて4つの模様の全 長の目安(例では30mm)を知ることができます。



④〔模様の全長表示画面〕(補正後)



③ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、止めぬいを含む4つの模様の実際の全長(例では24mm)を「+」または「-」キーで入力し、 OKキーを押して確定します。

- ④ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の全長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長(目安)が表示されます。このとき全長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。
 (左の画面例は、別の組み合わせ模様で全長表示画面を表示させた場合)
- ※ 補正前の初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場 合は、初期化キーを押して OK キーを押してください。

●模様の長さ調節機能(エロンゲーション)

1



(2)

〔調節画面〕



サテングループの模様は、他の飾りぬいの模様グループ と異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の長さを2~ 5 倍にかえることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでもでき ます。

※ サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様(密 着模様)です。布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってく ださい。

【模様の長さの調節例】

- ① サテングループの模様 を選びます。 03
- ② 調節キーを押して、調節画面を全体表示させます。
- ③模様の長さ調節キーを押して模様の長さをかえます。 設定した倍率でぬうことができます。



(3)



●つなぎもようグループの使い方

(1)

〔模様選択画面/つなぎもようグループ〕



(模様組み合わせモードの状態) かぎりもよう1(1/3) ₽ 🕺 🕕 🖨 🕷 ല് <u>↓8 🕺</u> A ↔ B⊼ \$ \$ \$ 8 \bigcirc \otimes \square 鼝 \bigotimes .⊙ 8 1 Ц F <

模様組み合わせキー







※ 中針位置の直線のぬい目が 2つ入っている。 つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを 直線ぬいを使ってあけるときに使います。

模様選択キーに表示されている模様の右側の数字「1」「2」 「3」は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときのつなぎ模 様(直線ぬい)のぬい目の数を示します。

は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 位置やぬい目のあらさのオ 模様 01 02 03 04 06 は、1 位置やぬい目のあらさのオ ート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定され ている値)が設定されていて、そのオート値はぬい目の 幅調節キーとぬい目のあらさ調節キーでかえることがで きます。

2

模様 os or は、針位置やぬい目のあらさのオート値が設定されていないで、その値はつなぎ模様の1つ前に記憶されている模様と同じ値になり、ぬい目の幅調節キーとぬい目のあらさ調節キーでかえることはできません。 (針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。)

【例】模様組み合わせモードで、かざりもよう ↔

1 グループの模様 [↓] のあいだに 模様 [↓] を組み合わせて、間かくをあける

 ① 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう 1 グ ループの模様

 を選びます。

つなぎもようグループの模様
 を選びます。

01

③ ミシンをスタートさせると、模様 ^{*} の間かくがあ いた状態でくり返しぬいます。 ⁰¹

※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2 つ入っています。

ぬい目のあらさが細かい模様につなぎ模様を使う場合

例えば、サテングループの模様 のように、ぬい 66 のように、ぬい 目のあらさが細かい模様の次につなぎもよう 65 07 使うと、つなぎ模様のぬい目のあらさは 1 つ前の模様 のぬい目のあらさと同じになるため、つなぎもようの ぬい目のあらさも細かくなって、次の模様とほとんど 間かくがあきません。





〔模様選択画面〕

文字ぬいキー



〔模様グループ選択画面〕



文字ぬいキーを押すと、文字ぬいの模様グループ(書体) を選ぶ選択画面になります。 文字ぬいの模様グループは、5個にグループ分けしてあ ります。

明朝体 (9mm) グループ

「明朝体(9mm)」キーを押すと、明朝体(ひらがな・ カタカナ、およびスペース模様2個)の模様選択画 面になります。 明朝体(9mm)グループは、3つのページ(画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は、最大9mm あります。

②まるもじ(9mm)グループ

「まるもじ(9mm)」キーを押すと、まるもじ(ひら がな・カタカナ、およびスペース模様2個)の模様 選択画面になります。 まるもじ(9mm)グループは、3つのページ(画 面)に分かれていて、ページキーで選択できます。 ※ 文字のサイズ(高さ)は、最大9mm あります。

③ ブロック体グループ

「ブロック」キーを押すと、ブロック体(英字・数字・ 記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。

ブロック体グループは、5つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が最大 9mm で、個 々の文字サイズ(高さ)は 9mm より小さくな ります。



④ スクリプト体グループ

「スクリプト」キーを押すと、スクリプト体(英字・ 数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。

スクリプト体グループは、5 つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ(枠)が9mmで、個々の 文字高さは9mmより小さくなります。(上記ブ ロック体グループと同じです。)

⑤ ブロック体 (9mm) グループ

「ブロック(9mm)」キーを押すと、ブロック体(英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様3個)の模様選択画面になります。 ブロック体(9mm)グループは、3つのページ(画

- 面)に分かれていて、ページキーで選択できます。
- ※ 文字のサイズ(高さ)は、9mm あります。





模様グループ選択キーを押すと、その模様グループ(書体) の模様選択画面になります。 模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれてい

る場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同 様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキ ーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示さ れています。

【設定キー】

その模様に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件 に変更します。

- ※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色が グレーになっていて使用できないキーがあります。
- ① ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。 (27 ページ参照)

- ② **文字高さ切りかえキー** 文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく(低く)す ることができます。
- ③ ひらがな・カタカナ切りかえキー ひらがなとカタカナを切りかえることができます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。 (78ページ参照)
- ④ 横書き・縦書き切りかえキー
 横書きと縦書きを切りかえることができます。
 (78ページ参照)
- ※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。
- ⑦ 大文字・小文字切りかえキー 大文字と小文字を切りかえることができます。 模様選択キーの表示も同時に切りかわります。
- ※ 設定キーの中の⑤「削除キー」、⑥「保存キー」、および模様頭出しキーの使い方は、飾りぬいと同じです。 組み合わせた文字内容を確認できるプレビュー機能および編集機能、模様全長表示機能も飾りぬいと同じです。「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード」(64ページ)をごらんください。

[※] ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法/●画面 (タッチパネル)」(10ページ)をごらんください。

●文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせてぬうことができます。
 - ・ 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - ・ 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
 - ※ 飾りぬいの模様グループは、「◎飾りぬい」(61ページ)をごらんください。

■ 文字を 1 つだけまたは複数の文字を組み合わせてぬった場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。) ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。

- ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせてぬった場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合は、最後の文字を ぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合は、組み合わせた 模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。
 - ※ 編集機能は、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/★編集機能」(70ページ)をごらんください。
- 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存することができます。

<u>文字ぬいの注意事項</u>

- ・ 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・ 針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さえは F: サテン押さえを使用してください。
- 伸びる布地、薄手の布地などをぬう場合は、布の裏に市販品の芯地を貼るかまたはトレーシングペーパー
 や薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせた場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなることがあります。気になる場合はスペース模様で調節してください。(80ページ〔スペース模様〕欄参照)

〔模様選択画面〕 明朝体グループの例



- 【例】明朝体の横書きで文字「マイがっこう」 をぬう
- 「明朝体(9mm)」キーを押して明朝体の模様選択画 面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキーで横書き
 (よく)を選びます。
- ※ 縦書きの場合は、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦 書き切りかえキーを押して、キーの表示を たし ます。
- ② ひらがな・カタカナ切りかえキーを押して、キーの表示を から から にかえます。
 ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「マ」を選びます。
- ※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。





ひらがな・カタカナ ④ 切りかえキー						
明朝体	(9 m n)	(3/3)	35	5	
# 2	<u>大</u>	あ	ンたて	٣, ش	Ľ`	_+
	48	ĸ	ŝ,	A	Ŷ	
B▲	が	ぎ	Ċ	げ	Č	
\checkmark	క	Ľ	ず	ぜ	ぞ	\square
6	だ	ぢ	づ	で	ど	٩
	ば	${\cal O}$	5	べ	ぼ	セット
	ば	\mathcal{O}^{r}	\$	べ	æ	
	ゔ					
						1
F						
L						

3/3ページ

- ③ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「イ」を 選びます。
- ④ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押して、キーの表示を びかから びかい にかえ、ページキーで 3/3 ページを表示させ、文字「が」を選びます。
- ※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の模 様選択キーの表示もひらがなに切りかわります。

(5) 2/3ページ (6) 1/3ページ 明朝体(9mm)(2/3) 明朝体(9mm)(1/3) ょぁ <u>ت</u> '۳ 大あ <u>ت</u> ۲ ↓<u>8</u> ‰ A ↔ P¹ p-1-18 88 А B В▲ ま み ţ ø ŧ あいう えお 0 0 Σ ゐ £ かき 2 け ŋ ろ れろ ð ι す せ そ セッ Ŀ た ち 0 τ С Л に Ż¢. ぬ ね D はひ へほ š Ĵ Ĵ Щ₿ ਸ਼ <

1/3ページ

- ⑤ ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「っ」を 選びます。
- ⑥ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「こ」を 選びます。

明朝体(9 m m)(1/3) あ Č M 18 88 Ŷ B お 5 え あ ų٥. け Σ か き Ś そ L ぬいイメージτ Ŀ to D に න් ね Ż¢. はひふ へほ Î

F

(7) (8)

- ⑦ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「う」を 選びます。
- ミシンをスタートさせると、「マイがっこう」をぬったあと自動的にミシンは停止します。



★統一糸調子機能

(1)



すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値(電源を入 れたとき、ミシンに自動的に設定されている値)と異な る別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合は、 調節画面の糸調子調節キーで模様ごとに設定する必要が あります。

文字ぬいの場合は、統一糸調子機能により、組み合わせ 模様(文字)ごとに設定しないで、一括して統一した糸 調子を設定することができます。

【設定例】

① 文字を選びます。(ブロック体「ABC」の例)

- ② 調節キーを押します。
- ③調節画面にし、統一糸調子キーを押します。





- ④ 統一糸調子キーの色が黄色にかわります。糸調子調節
 キーで設定したい値に変更します。
 (設定例は「3.0」)
- ⑤ 組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」 でぬうことができます。
 画面の糸調子の設定状態を示す表示が、「オート」から「マニュアル」にかわっています。
- ※ 統一糸調子を解除する場合は、統一糸調子キーを押す と、統一糸調子機能のセット前の値にもどります。
- ※ 組み合わせた文字を削除キーですべて削除した場合、 および文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだ場 合も統一糸調子機能は解除されます。



●用途選択の画面

〔模様選択画面〕

用途キー





用途キーを押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べ る用途選択画面になります。

用途選択画面は、12個の用途選択キーがあり、2つの ページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択でき ます。

※ 用途選択により選んだ模様に設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあらさ・糸調子」などの値は、ぬいの 用途に適した値になっています。

① 地ぬい

「地ぬい」キーを押すと、4 種類の地ぬいの用途選択 画面になります。4 種類の中から目的のキーを押す と、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面に なります。地ぬいは、12 種類の模様があります。 (85 ページ参照)

② ふちかがり

「ふちかがり」キーを押すと、縁かがりの模様選択画 面になります。縁かがりは 4 種類の模様があります。 (86 ページ参照)

③まつりぬい・シェルタック

「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつり ぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面に なります。 目的のキーを押すと、まつりぬいまたはシェルタック の模様選択画面になります。 まつりぬいは 2 種類、シェルタックは 3 種類の模様 があります。(87 ~ 89 ページ参照)

④ 三つ巻き

「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きの模様選択画面 になります。三つ巻きは、3 種類の模様があります。 (90 ページ参照)

⑤ ファスナー付け

「ファスナー」キーを押すと、2 種類のファスナー付けの用途選択画面になります。2 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。ファスナー付けは、10 種類の模様があります。(91 ~ 95 ページ参照)

⑥ギャザー

「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面 になります。ギャザーは、2 種類の模様があります。 (96 ページ参照)

〔用途選択画面〕 (2/2ページ)



⑦しつけぬい

「しつけ」キーを押すと、しつけぬいの模様選択画面 になります。しつけぬいは、2 種類の模様があります。 (97 ページ参照)

⑧ ボタン付け

「ボタンつけ」キーを押すと、ボタン付けの模様選択 画面になります。ボタン付けは、2種類の模様があり ます。(97~99ページ参照)

⑨ かんぬき

「かんぬき」キーを押すと、かんぬきの模様選択画面 になります。かんぬきは、4 種類の模様があります。 (100 ページ参照)

10 アップリケ

「アップリケ」キーを押すと、アップリケの模様選択 画面になります。アップリケは、6 種類の模様があり ます。(100、101 ページ参照)

①パッチワーク

「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様 選択画面になります。パッチワークは、3 種類の模様 があります。(102、103 ページ参照)

① キルティング

「キルティング」キーを押すと、6 種類のキルティン グの用途選択画面になります。6 種類の中から目的の キーを押すと、それぞれの用途に適したキルティング の模様選択画面になります。キルティングは、24 種 類の模様があります。(104 ~ 112 ページ参照)

地ぬい/伸びない布地用の模様を選ぶ例



〔用途選択画面/地ぬいの2段階目〕



②上の画面で伸びない布地キーを押す



〔用途選択画面/伸びない布地〕



用途選択画面の用途選択キーを押すと、その用途に使用 する模様選択画面になります。 模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれてい る場合は、ページキーで選択できます。

「地ぬい」「まつりぬい・シェルタック」「ファスナー付け」 「キルティング」は2段階の用途選択画面で構成されて いますので、用途選択キーを2回押すと模様選択画面に なります。

※ 模様選択画面のもどりキーを押すと、1 つ前の用途選 択画面にもどります。 用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ 場合は、模様選択画面の模様グループ選択キーで目的 の模様グループを選んでください。



〔用途選択画面/地ぬい〕

谷 1/2		
地ぬい	ふちかがり	

〔用途選択画面/伸びない布地〕



<u>↓8</u> % A 🟠 B⊼ 自動 止めぬい ф **₽** Ŗ 🔶 🗕 4.5 🕂 - 2.40 +

〔用途選択画面/ 伸びる布地〕



〔用途選択画面/ トップステッチ〕



(2/2ページ) 地ぬい1(2/2) ╩╧╴

〔用途選択画面/ 円弧ぬい〕



用途選択画面の「地ぬい」キーを押すと、4種類の地ぬ いの用途選択画面になります。

4 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適した地ぬいの模様選択画面になります。 地ぬいに適した12種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい」 (33ページ)をごらんください。

【伸びない布地】

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどに適した5 種類の模様が選択できます。

【伸びる布地】

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮性布地に適し た3種類の模様が選択できます。

【円弧ぬい】

円弧ぬいに適した3種類の模様が選択できます。

【トップステッチ】

トップステッチに適した模様が選択できます。



〔用途選択画面/ふちかがり〕



用途選択画面の「ふちかがり」キーを押すと、ふちかが りの模様選択画面になります。 ふちかがりに適した 4 種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●かがりぬい」(41 ページ) をごらんください。







オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやす い布地のかがりぬいに使います。 布端を押さえのガイドにあててぬいます。



〔用途選択画面/ まつりぬい・シェルタック〕



まつりぬ		
₽	5	
B∡	<u>↓8</u> % A ↔	Þ
$\left \right\rangle$	普通地 伸びる布地	
$\left \right\rangle$		5
4		セット
5		
\sum		
H	▲ ▶ + 0.6 →	
G	₹ - 22 +	

〔模様選択画面/

まつりぬい〕

まつりぬいキー

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押 すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途 選択画面になります。

「まつりぬい」キーを押すと、まつりぬいの模様選択画面 になります。

まつりぬいに適した2種類の模様が選択できます。







〔模様選択画面/まつりぬい〕

18 88 A

普通地

5

伸びる布地

B + 0.6 ≥ - 2.2 + P[±]

Ĵ

数値

まつりぬい 単

B⊼

님

初期化キー



画面の数値と針位置の関係

【針位置の調節方法】

※下記、左針位置調節キーおよび右針位置調節キーは、 調節キーを押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。

《左針位置調節キー》

左側の針位置(折り山側の針位置)をかえることがで きます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が 変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、
 左針位置が左へ移動します。
- 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、
 左針位置が右へ移動します。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置 は固定なので、右に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから右針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、
 右針位置が右へ移動します。
- 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、 右針位置が左へ移動します。

《ぬい目の幅調節キー(針位置調節キー)》

模様の幅をかえずに左側の針位置(折り山側の針位置) をかえることができます。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距 離の目安をミリメートルで表示しています。

- 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、 左針位置が左へ移動します。(模様全体が左に移 動します。)
- 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、 左針位置が右へ移動します。(模様全体が右に移 動します。)
- ※ 変更した値をオート値(電源を入れたとき、ミシンに 自動的に設定されている値)にもどす場合は、調節画 面の初期化キーを押してください。

●シェルタック

〔用途選択画	面/
まつりぬい・	シェルタック〕



用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押 すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途 選択画面になります。

「シェルタック」キーを押すと、シェルタックの模様選択 画面になります。

シェルタックに適した3種類の模様が選択できます。



① 布をバイヤスに2つ折りにします。

② 右の針位置が布の折り山のきわ(布の外側)におりる ようにしてぬいます。

の例)

【針位置の調節方法】

※下記、模様位置調節キーおよび右針位置調節キーは、 調節キーを押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい/●実用 ぬいの調節画面」(28ページ)をごらんください。

《模様位置調節キー》

模様の幅をかえずに、模様のぬい位置を左右に移動さ せることができます。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置 は固定なので、右に模様の幅が変化します。





切り落とす

約 0.9cm



用途選択画面の「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きぬ いの模様選択画面になります。

三つ巻きぬいに適した3種類の模様が選択できます。

直線三つ巻き(4mm & 6mm)は、

オプションの「D1:三つ巻き押さえ」または「D2: 三つ巻き押さえ」を使用して、標準の三つ巻き幅より 広い幅をぬう場合に使います。



- 市端約 6cm の長さを、約 0.3cm の幅で三つ折りに します。
- ※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつける とぬいやすくなります。
- ② 最初のぬい位置に針をさして押さえをさげ、上糸を向 こう側に引きながら1~2cm ぬってミシンを停止し
- ③針を布にさした状態で押さえをあげ、布の三つ折りの 部分を開いて、布端を押さえのうずの中に巻き込みま
- ④ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持 ちあげながらぬいます。

ために布端を切り落として折り合わせます。

90



	ファ	スナー	• 1)
ファスナ	-1	_	
₽₽	▲ ● ● 返しぬい	ک ک A دریال	
	с ^р		
 }	左側をぬう 	右側をぬう 	
	 	4.5 + 2.40 +	Ĵ

〔模様選択画面/

用途選択画面の「ファスナー付け」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。 2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適したファスナー付けの模様選択画面になります。 ファスナー付けに適した4種類の模様が選択できます。





④ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3cm 出して アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあて ます。

- (左側をぬう)を選び、E:ファスナー ⑤ 模様 cp 押さえに付けかえ、むしのきわを押さえの右側面にあ て、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。



上の布 (裏)

- ⑥ ファスナーの端から約 5cm ほど手前でミシンを停止 し、針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダー を押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの 部分をぬいます。
- ※ ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。



 ファスナーを閉じ、スライダーを上にたおし、上の布 をファスナーの上にかぶせます。

模様 (しつけ)を選び、A:基本押さえに付け かえ、かぶせた布と台布をしつけで止めます。

- ⑧ 模様
 (右側をぬう)を選び、E:ファスナー
 押さえに付けかえ、上の布のあき止まりを 0.7 ~
 1cm ほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの
 左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。
- ⑨ ファスナーの上側を 5cm ほど残したところでミシン を停止し、針を布にさした状態で押さえをあげ、手順
 ③でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを押さえの 向こう側にずらします。
- 10 押さえをさげて残りの部分をぬいます。
 ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどきます。

しつけ糸をほどく

(10)

コンシールファスナー付け(オプション)





【ぬい方】

- ※ コンシールファスナーは、あき寸法より 2cm くらい 長いものを準備します。
- ① 模様
 (自動返しぬい)を選び、A:基本押さ えで、布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいを します。
- ※ 自動返しぬいのぬい方は、「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい/★自動返しぬい」(36ページ)をごらんください。
- ② 模様 (しつけ)を選び、あき部分は地ぬい線 より内側に 0.3cm の位置をしつけをします。
- ③ ぬいしろの上側の布を身頃側へ折り返します。 ファスナーを裏返しにセットし、ファスナーを開いて 右のむしを折り山にあてておきます。



(コンシールファスナー右側)を選び、Z: コンシ ④ 模様 ールファスナー押さえに付けかえます。

右側のむしを立てて、押さえの左のみぞに入れ、むし の部分を押さえの凸部にあてながら、あき止まりまで ぬっていきます。

- ※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいを します。
- ⑤ 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。
- (ぬいしろにぬいとめる)を選び、Z: コンシ ⑥ 模様 ールファスナー押さえを外し、E: ファスナー押さえを セットします。
- ⑦ 身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端 を止め金から2~3cmのところまでぬい付けます。
- ※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいを します。
- (ぬいしろにぬいとめる)を選び、身頃を 左側に折り返して、ぬいしろに右側の台布の端を止め 金から2~3cmのところまでぬい付けます。 ぬい終わりに返しぬいをします。
- (コンシールファスナー左側)を選び、Z: コンシ ⑨ 模様 ールファスナー押さえに付けかえます。 ②でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを止め金ま でおろします。 表から持ち手を布とファスナーの間に入れるとスライ ダーは止め金までさがります。 身頃を右側に折り返します。 左のむしを立てて押さえの右のみぞに入れ、④と同じ 方法でぬっていきます。

(1) 止め金をファスナーのあき止まりの位置より 0.3cm くらい上でペンチで固定します。

●ギャザー







〔用途選択画面〕

〔模様選択画面/しつけ〕



●ボタンつけ

用途選択画面の「しつけ」キーを押すと、しつけの模様 選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選択できます。

模様 (オート)は、ぬい目のあらさが最大値(約 0.5cm)の直線ぬいを自動的にぬうことができます。

あとで糸をほどきやすいように、糸調子が弱く設定され ています。

模様 (マニュアル) は、お好みの間かくを 1 針ずつ手 で布を移動させてぬうことができます。

ぬい方は、「◎実用ぬい/●しつけぬい」(40 ページ) をごらんください。

用途選択画面の「ボタンつけ」キーを押すと、ボタンつけの模様選択画面になります。 ボタンつけに適した2種類の模様が選択できます。

※ボタンつけキーを押すと、「送り歯を下げてくださいい。」のメッセージが表示されます。送り歯を確認して、閉じるキーを押します。



〔用途選択画面〕

ボタンつけ

(>)

・ボタンつけキー

(2/2ページ)

ናጉ 2/2

しつけ



必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認して ください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの 原因になります。



1





2345



6 7

🔪 ぬい終わりの上糸



※ 模様 (普通のボタンつけ)は、ぬいが終了すると自動 的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設 定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止し ます。)

の例)

- ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面 (調節画面)の間かく調節キーで、画面の数値を間か くと同じ値に設定します。(最大 7.0mm まで調節で きます。)
- ※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節 画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定がで きます。
- ② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。
- ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえを さげます。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
- ※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節し てください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置 が移動します。)
- ⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10 ~ 20cm残して切ります。(糸切りボタンで切らない でください。)
- ⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。
 ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。



〔模様選択画面/ボタンつけ〕



(1) (2) (3) (4) (5)





6) (7)



【根巻きボタンつけのぬい方】(模様

根巻きボタンつけは、付属のボタン付けプレートを使用 してぬいます。(ボタンの厚さが厚いものは使用できませ ん。)

の例)

※ 模様 👺 (根巻きボタンつけ) は、ぬいが終了すると自

動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置 設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止 します。)

- ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面 (調節画面)の間かく調節キーで、画面の数値を間か くと同じ値に設定します。(最大 7.0mm まで調節で きます。)
- ※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節 画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定がで きます。
- ② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にま わしてボタンの左の穴に針をさします。
- ③ ボタンの下にボタン付けプレートを差し込み、ボタン の左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげま す。
- ※ボタン付けプレートは、みぞの部分がボタン穴の下に なるように差し込んでください。
- ※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5mm、うすい 方が 3mm になっています。根巻きの用途に合わせ てお選びください。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンおよびボタン付けプレートにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
- ※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節し てください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置 が移動します。)
- ⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと 自動的にミシンは停止します。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を10
 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らない でください。)
- ⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあい だに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと 布のあいだに引き出します。

上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に 数回巻き付けて結びます。



〔模様選択画面/かんぬき〕



(2/2ページ)				
かんぬき	¥ (2/2)			
B	5 山夏 83 A ご 自動的に長さ			
	1.2cmでぬいます。	A		
		1		
F				

用途選択画面の「かんぬき」キーを押すと(83ページ 参照)、かんぬきの模様選択画面になります。 かんぬきに適した4種類の模様が選択できます。



がぬえます。

ぬい方は、「◎ボタンホール/●かんぬき」(59 ページ) をごらんください。

●アップリケ

用途選択画面の「アップリケ」キーを押すと(83ページ参照)、アップリケの模様選択画面になります。 アップリケに適した6種類の模様が選択できます。

〔模様選択画面/アップリケ〕





左針位置(L)基準



画面の模様選択キーに表示されている「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

模様

※ アップリケに使用できる模様は、飾りぬい模様グルー プのアップリケグループにもあります。 アップリケグループの模様選択キーに表示されている 「L」は、上記同様、ぬい目の幅をかえたときに、左針 位置を基準(固定)に右に幅が変化します。 飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(61 ページ) をごらんください。





【ぬい方】(模様 単)の例)

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。 模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に ささるようにぬいます。

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ 布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上が ります。

※ ピボットぬい設定キーを使用すると便利です。「◎実用ぬい/●実用ぬいの画面」(27 ページ)をご

<u>針停止位置切りかえキーの使い方</u>

らんください。

セットキーによるミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置 停止」に設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様 を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。 ミシンを停止したときの針位置を上にしたい場合は、模様選択画 面の針停止位置切りかえキーを押して上位置停止状態にしてくだ さい。

+ :下位置停止状態
↓ :上位置停止状態

※ セットキーによる、針停止位置の設定は、「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】②針停止位置」(125ページ)をごらんください。

角ぬいキーの使い方

模様選択画面の角ぬいキーを利用すると、角の部分で方向転換し てから模様頭出しキーにより模様を最初からぬっても、模様のぬ い始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいに ぬうことができます。

- ※ 模様頭出しキーは、「◎飾りぬい/●模様組み合わせモード/
 ★模様頭出しキーの使い方」(68 ページ)をごらんください。
- 角ぬいキーを押してキーの表示を角ぬいの状態にします。(角 ぬいの状態にセットすると、模様頭出しキーの表示も角ぬい状 態の表示にかわります。)

: 通常の状態

: 角ぬいの状態

- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がささった位置 でミシンを停止します。
- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキ ーを押してからミシンをスタートさせます。





〔模様選択画面/パッチワーク〕(上送り) (1/2ページ)



用途選択画面の「パッチワーク」キーを押すと(83ペー ジ参照)、パッチワークの模様選択画面になります。 パッチワーク(ピーシング)に適した3種類の模様が選 択できます。

- ※3種類の模様は、0:パッチワーク押さえを利用して ぬうと、0.65cm (1/4 インチ)のぬいしろを正確 にぬうことができます。
- 🌉 は、自動返しぬい、および自動止 ※ 模様 _ めぬいです。 自動返しぬい、および自動止めぬいのぬい方は、「◎実 用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい/★自動返しぬい、 ★自動止めぬい| (36 ページ) をごらんください。
- ※ ピーシング用の模様は、飾りぬい模様グループのキル
- トグループにもあります。(模様 | |p| | v4r² ^{7mm1³ P | U} 模様 と、 し、 パッチワークの3 種類の模様と 同様、パッチワーク押さえを利用してぬうと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。 模様 0.7cm のぬいしろを正確にぬうことができます。 飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(61ページ) をごらんください。
- ※ 上送りぬい切りかえキーを押すと、使用する押さえ表 示が OD:パッチワーク用上送り押さえになりますが、 標準付属品には含まれていませんので、ご了承願いま す。

なお、OD:パッチワーク用上送り押さえは、オプシ ョン品にて対応予定です。



(1)

- 【ぬい方】(模様 の例)
- ① 布を中表に合わせ、ぬい始めの位置からミシンをスタ ートさせ、ぬい終わりの位置でミシンを停止します。



③ 〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



ぬい始めの位置 0.65cm (1/4 インチ) _0.65cm (1/4 インチ) ぬい終わりの位置 対角線 パッチワーク押さえの ガイドに合わせる 角度目盛り \sim 角度目盛り (実線) 角度目盛り(点線) 角度目盛り「45」度 〈点線〉に合わせる 布 (ピース)

- ② 返しぬいボタンを一度押します。
 その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
- ③ ミシンが停止するとメッセージ画面が表示されます。
 - 引き続き同じ長さをぬう場合は、OK キーを押します。ぬい長さが記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
 - ・ 異なる長さをぬう場合は、閉じるキーを押します。
- ※ ぬい目のあらさの調節は、模様選択画面上でできます。 調節キーを押して表示される調節画面にもあります。 どちらを使用しても同じ設定ができます。

針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目盛りに 布端を合わせると、しるしなしで 0.65cm(1/4 イ ンチ)のぬい始めの位置を決めることができます。

【例】レモンスター

- パッチワーク押さえをセットし、用途選択のパッチ ワーク3種類の模様、または飾りぬい模様グルー プのキルトグループ、模様 「」を選びます。
- ② ピースの対角線に折り目を付けます。
- ③ ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドおよび角度目盛り「45」度〈点線〉に合わせて布を置きます。
- ※ パッチワーク押さえを使わず基本押さえなどを使用 する場合は、飾りぬい模様グループのキルトグルー プ、模様 (中針位置の直線)を選び、布端を針 板のガイドライン 1/4 インチおよび角度目盛り 「45」度〈実線〉に合わせて布を置きます。
- ④ぬい終わりは対角線までぬいます。

●キルティング

〔用途選択画面〕 (2/2ページ) 〔用途選択画面/キルティング〕





用途選択画面の「キルティング」キーを押すと、6種類 のキルティングの用途選択画面になります。 6 種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に 適したキルティングの模様選択画面になります。

キルティングキー

★直線ぬい



キルティングの用途選択画面の「直線ぬい」キーを押すと、 3 種類の直線ぬいの模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい/●直線(直線状模様)ぬい| (33ページ)をごらんください。

【キルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを利用すると、前にぬったぬい目と 平行に等間かくでぬうことができます。



- ① 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティング ガイドを差し込みます。(針位置とキルティングガイ ドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。)
- キルティングガイドのガイド部分にとなりのぬい目を 合わせながらぬいます。



押さえホルダー 取り付け穴 (1) キルティングガイド

(2)



★とじぬい

〔用途選択画面/ キルティング〕





〔模様選択画面/とじぬい〕

キルティングの用途選択画面の「とじぬい」キーを押すと、 4種類のとじぬいの模様が選択できます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止 めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。



★フリーキルティング

〔用途選択画面/ キルティング〕





— フリーキルトキー







《PD-H:フリーキルト押さえ》



《QC:丸穴キルト押さえ》



《QO:前あきキルト押さえ》



《QV:透明キルト押さえ》

キルティングの用途選択画面の「フリーキルト」キーを 押すと、4種類のフリーキルティングの模様が選択でき ます。

※ フリーキルトを選択すると、送り歯があがっている場 合、「送り歯を下げてください。」のメッセージがでま すので、送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてくだ さい。(13ページ参照)

【各種フリーキルト押さえの特長】 《PD-H:フリーキルト押さえ》 直線模様、ジグザグ模様を使用します。 普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。

《QC: 丸穴キルト押さえ/ QO: 前あきキルト 押さえ》

直線模様を使用します。 フリーキルトの基本的な押さえです。 押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。 前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に 適しています。

《QV:透明キルト押さえ》

ジグザグ模様を使用します。 押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。 手元で見やすく、安定して布を押さえるので、段差のあ る作品にも適しています。 また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線

を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。


〔模様選択画面/ フリーキルト〕







- 【PD-H : フリーキルト押さえのぬい方】 (模様 <mark>」</mark>の例)
- ※ PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操 作方法/● PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方」 (17ページ)をごらんください。

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1針ぬって停止します。
- ③上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下糸 を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布 の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- 5 もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。

⚠ 注意

キルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロック キーによりミシンをロック状態にしてから行ってく ださい。けがの原因になります。



(例) QO:前あきキルト押さえ









【QC:丸穴キルト押さえ/QO:前あきキルト 押さえ/QV:透明キルト押さえの取り付け方】

- 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押し て針をあげます。
- ② ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。
- ※ ロックキーの使い方は 11 ページをごらんください。
- ③使用しない押さえを外します。
- ④ 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろの みぞにかけます。
- ⑤ 押さえのうしろを軽く押さえながら押さえ上げをさ げます。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロック キーを押してミシンをロック状態にし、押さえホル ダーのレバーを押して、押さえを外します。 (14ページ参照)

【QC:丸穴キルト押さえ/QO:前あきキルト 押さえのぬい方】



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さ えすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さ の調節をしてください。(110ページをごらんください。)

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
 ミシンは1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下 糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ※ QO:前あきキルト押さえは押さえの穴がないので、 引き出した上糸と下糸を横にして、押さえておきます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらキルティングをぬいます。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。







M

(5)

【QV:透明キルト押さえのぬい方】 (模様 **)**の例)

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さ えすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さ の調節をしてください。(110ページをごらんください。)

- 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。ミシンは1 針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上に引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下 糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- し J 度 2 J J A 図案にそって両語 わせ、等間隔に ** キルト押さえを付 引っ張らないです 因になります。

約 10mm

- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらガイド線に合わせ、等間隔にキルティングすることができます。
- ※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く 引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原 因になります。





★刺し子風ステッチ

〔用途選択画面/ キルティング〕		
エリレノインノ 市ルティング 直線ぬい とじめい フリーキルト 副し子風 フリーキルト シテッチ デ約い風 パリアブリングの チぬい風 パリアブリングの マリンキルト ジャンチ デ約い風 パリアブリングの シングワグの ア・ ジング ア・	2 2 2 2 2	

〔模様選択画面/ 刺し子風ステッチ〕		
	25 mpf ↓ 数 63 → 数 0 xx b(x) 1 □ xx b(x) 1 0 xx b(x) 2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

★手ぬい風キルトぬい



_	-		
手ぬい風	キルトぬい		
4		5	$ \begin{tabular}{ c c c c c } \hline \end{tabular} \end{tabular} \end{tabular}$
B⊼	188	A 🗘	P
Æ	手ぬい風 キルト1	手ぬい風 キルト2	
		# <u>~</u>	
	4 P 🔛	\$#P	٩
	手ぬい風 キルト3	手ぬい風 キルト4	セット
	1	7	
	14	3	\bigcap
		`	Ĵ
ļ	\ 	4.5 +	
F		2.50 +	

〔模様選択画面/

手ぬい風キルトぬい〕

刺し子風ステッチキー ―

キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キ ーを押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選択で きます。

キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」 キーを押すと、4種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選 択できます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、飾りぬい模様グループ のキルトグループ5/6、6/6ページにもあります。



手ぬい風キルトぬいの模様は、下糸が上に引きあげられ るので、ステッチが手ぬい風に見えます。

上糸はナイロン糸、下糸は普通の糸を使用してぬいます。 針は14~16番を使用します。





★バリアブル ZZ(可変ジグザグ)





キルティングの用途選択画面の「バリアブル ZZ(可変 ジグザグ」キーを押すと、6 種類の可変ジグザグぬいの 模様が選択できます。



これらの模様はフリーキルティングを行うとき、ニーリ フトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえること ができるので両手が使えて便利です。(ぬっているとき、 ニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなりま す。)



- 模様 **しまう します**。 は、ぬい目の幅が左側を 基準に右に変化します。
- ※ ミシンが停止しているときにニーリフトを操作すると、 通常の使用方法と同様、押さえのあげさげができます。 ニーリフトの取り付け方および通常の操作方法は、 「◎操作方法/●ニーリフト」(12ページ)をごらん ください。
- ※ 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。
 正しい押さえを使用してください。
 PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操作方法/● PD-H:フリーキルト押さえの取り付け方」
 (17ページ)をごらんください。
 QV:透明キルト押さえの取り付け方は、(108ページ)をごらんください。
- ※ ぬい方や1 針停止キーの使い方は、「★フリーキルティング」(106~110ページ)と同じです。
- ※ ニーリフトの移動量に対する針の振る量(ぬい目の 幅)をかえることができます。「◎ミシンの設定/ 【通常ぬい設定】/⑥バリアブル ZZ(可変ジグザグ) 感度調整」(126ページ)をごらんください。

◎ 2 本針ぬい

⚠ 注意

針を交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。 けがの原因になります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

- 2本針ぬいは、実用ぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。
 (模様によってはできない模様があります。)
 ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- ・ 2本針ぬいは、付属の2本針をご使用ください。
 2本針の交換方法は、「◎操作方法/●針の取りかえ」(19ページ)をごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。
 (糸切りボタンを使用しないでください。)
 面板の糸切りの使い方は、「◎ぬう前の準備/●直線(直線状模様)ぬい/★直線ぬい(中針位置)/
 〔面板の糸切りの使い方〕欄」(34ページ)をごらんください。
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。



- ※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。
 補助糸立て棒の取り付け方法は、「◎ぬう前の準備/
 ●下糸の準備/★補助糸立て棒の使い方」(21 ページ)をごらんください。
- ※ 糸は、60 番および 60 番より細い糸を使用してくだ さい。

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①~⑦の手順で正しくかけてください。

- ①~④
 糸のかけ方は、針が1本のときの通常の上糸かけの
 手順①~④と同じです。
 「◎ぬう前の準備/●上糸の準備/★上糸かけ」(24 ページ)をごらんください。
- ⑤ A の糸は、アーム糸案内に右からかけます。 B の糸は、アーム糸案内の穴に通します。
- ⑥ A の糸は、針棒糸かけに右からかけます。
 B の糸は、針棒糸かけにはかけません。
- ⑦ 2 本針に左右に分けて糸を通します。
- ※ 2 本針は糸通しが使えません。針穴に糸を通すときは、 手で針の手前から向こう側に通してください。



(1)(2)



【ぬい方】

(飾りぬい模様/飾り模様 2 グループ、模様 の例)

 ① 模様選択画面の2本針ぬい切りかえキーを押して2
 本針ぬい設定にします。



:2本針ぬい設定状態

- ※ ぬい目の幅が最大 3.0mm に制限されます。 直線状模様の場合は、針位置が3.0~6.0の範囲に 制限されます。 2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本 針ぬい切りかえキーを押して 2 本針ぬい設定状態に してください。
- ※2本針ぬい設定状態にすると、2本針ぬいに適さない 模様の模様選択キーの色がグレーにかわり、キーを押 しても受け付けられないようになります。 1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が 選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキーの色が グレーになっていて、押しても受け付けられないよう になっています。(左図、画面【A】参照) 2本針ぬいに設定する場合は、2本針ぬいに適した模 様を選んでキーの色をかえてから2本針ぬい設定状 態にしてください。

ゆう模様に適した押さえに交換します。

- ※ 2本針ぬいに使用する押さえは、A:基本押さえ、ま たは F: サテン押さえです。 画面の押さえ表示にしたがった押さえを使用してくだ さい。
- ③ 上糸を、A:基本押さえを使用している場合は押さえ の下から向こう側に、F:サテン押さえを使用してい る場合は押さえの下から横に引き出し、押さえ上げを さげてぬい始めます。
- ※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向を かえてください。
- ④2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。
- ※2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が 押さえや針板にあたる場合があります。
- ※2本針ぬい設定状態は、もう一度2本針ぬい切りか えキーを押すか、電源スイッチを一度切り、再度電源 スイッチを入れると解除されます。 2本針ぬい切りかえキーを押した場合は、針交換確認 のメッセージ画面が表示されます。OK キーを押すと メッセージ画面が消えます。

◎模様データの保存・呼び出し

組み合わせた模様データをミシンやUSBメモリに保存し(ファイルセーブ)、いつでも呼び出して(ファイルオープン)ぬうことができます。

●模様データの保存



② (ファイルを保存画面)
「ニー ミシンの内蔵メモリ選択状態



飾りぬいの模様組み合わせモードおよび文字ぬいででき ます。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】 (かざりもよう 2 の例)

保存キーを押して「ファイルを保存」画面を表示させます。

② ミシンに用意されているフォルダに保存する場合は、

1 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 /	「ファイルを保存 画面の	Ordf	を押します。
---	---------------	------	--------

- ※ 新しいフォルダを作成して保存する場合は、【新規フ ォルダの作成方法】(116ページ)をごらんください。
- ※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1 画面 に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ペー ジキーで次のページ(画面)を確認できます。

… ネーム書きかえキー すでに名前の付いているフォルダ名や ミシンに用意されているファイル名を 変更するときに使います。 (117ページ参照) ŵ. … 削除キー フォルダを削除するときに使います。 (118ページ参照) ÷-… 新規フォルダキー 新しいフォルダを作成するときに使い ます。(116ページ参照) ز ط … 内蔵メモリキー ミシンの内蔵メモリに保存するときに 選びます。 … USB メモリキー USB メモリに保存するときに選びます。 (119ページ参照) Ordf … ミシンに用意されているフォルダです。



- ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合は、「Ordf」画面のOKキーを押すと模様 データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。
- ※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある 場合は、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」 が表示されます。
- ※お好みのファイル名で保存する場合は、【ネーム書き かえキーの使い方】(117ページ)をごらんください。
- ※「もどり」キーを押すと1つ前の「ファイルを保存」 画面に、閉じるキーを押すと模様選択画面に、データ は保存されずにもどります。



4

【新規フォルダの作成方法】

ミシンに用意されているフォルダを使わないでお好みの フォルダを作成してデータを保存する場合は、下記の手 順で保存します。

- 前ページ手順②の「ファイルを保存」画面の新規フォ ルダキー を押して「新規名称」画面を表示させ、 文字キーによりお好みの名前(8文字以内)を付けて OKキーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示 させます。(例では、「MOYOU-1」と入力)
- ※ 文字の入力中に修正したい場合は、カーソル移動キー で取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで 取り消すことができます。
- ②「ファイルを保存」画面に、新規に作成した「MOYOU -1」フォルダが表示されるので、 Moyou-1 を押して 「MOYOU-1」画面を表示させます。
- ③「MOYOU-1」画面の OK キーを押すと、ファイル 名「M_001」の模様データがフォルダ名「MOYOU -1」に保存され、模様選択画面にもどります。

t ок 🗙

(1)〔ファイルを保存画面〕 ネーム書きかえキー(青色)



(2)

(3)

〔新規名称画面〕



〔ファイルを保存画面〕

ネーム書きかえキー(黄色)

Drdf

0.1/3MB

×

かざりもよう2(2/6)

- ファイルを保存

■ 16

MOYOU-1



【ネーム書きかえキーの使い方】

ネーム書きかえキーは、すでに作成されているフォルダ の名前を書きかえたり、ミシンに用意されているファイ ル名 [M 001] 等を使わずに、お好みのファイル名を 付けて保存するときに使います。

作成されているフォルダの名前を変更する場合

- ① 模様選択画面の保存キーを押して「ファイルを保存| 画面を表示させ、ネーム書きかえキーを押してキーの 表示を黄色にかえます。
- ※ キーの色が黄色の状態でフォルダの名前をかえること ができます。
- ② 名前をかえたいフォルダ (例えば Moyou-1))を押し て「新規名称画面」を表示させます。
- ③ 文字キーによりお好みの名前(8文字以内)を付けて OK キーを押します。(例では、「ST-10)) 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ名 が「ST-10」に書きかえられています。
- ※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】(116 ページ)を参照してください。









ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

- ① 例えば、【ミシンの内蔵メモリに保存する】 手順③ (116ページ)の[Ordf] 画面のファイル名[M 001] をお好みのファイル名に書きかえる場合は、「Ordf」 画面のネーム書きかえキーを押して「新規名称画面」 を表示させます。
- ② 文字キーによりお好みの名前(8文字以内)を付けて OK キーを押します。(例では、「ABC」)
- ※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】(116 ページ)を参照してください。

117

(3)

〔Ordf 画面〕

ファイル名「ABC」



③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」 に書きかえられているので、OK キーを押すとファイ ル名「ABC」でデータを保存することができます。

- (1) 2 〔ファイルを保存画面〕 削除キー (青色) 削除キー (黄色) かざりもよう2(2/6) かざりもよう2(2/6) ファイルを保存 🗖 ファイルを保存 0.1/3MB 0.1/3ME 🖉 谢 🕂 in + 1 P[‡] <u>ک</u> . Ordf Ordf MOYOU-1 MOYOU-1 Ĵ Х <
- 3 〔メッセージ画面〕



【フォルダの削除方法】

不要になったフォルダは削除キーにより削除することが できます。

- ① [ファイルを保存] 画面で、削除キーを押してキーの 表示を黄色にかえます。
- ※ キーの色が黄色の状態でフォルダを削除することがで きます。
- 削除したいフォルダ(例えば Royou-1)を押します。
- ③ フォルダを削除してよいか確認するためのメッセージ 画面が表示されるので、OK キーを押します。 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ 「MOYOU-1」が削除されています。

〔ファイルを保存画面〕



※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモ リを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。





【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

- ① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押します。
- ②「ファイルを開く」画面のフォルダの中から呼び出したいファイル(模様データ)が入っているフォルダを押します。(例では、 Moyou-1))
- ※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面 に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ペー ジキーで別のページ(画面)を表示できます。



(MOYOU-1 画面)



〔模様選択画面〕



- ③「MOYOU-1」画面のファイルの中から呼び出したい ファイル(模様データ)を押すと、模様データを保存 したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬう ことができます。
- ※ 一覧表示キー【A】 が選択されている場合は、ファ イルが 2 列で表示され、1 ページ 10 個のファイル を表示することができます。

ー覧表示キー【B】 が選択されている場合は、ファイルが1列で表示され、1ページ5個のファイルを表示することができます。

ファイル名が最大2行で表示されるので、パソコン などで付けた長いファイル名を表示するときに便利で す。



(2)

(3)

(4)

共通設定 (1/4) **−**\$ 画面のコントラスト + --(1) 音量 **()** () Ŧ インチノミリ inch 6)ок 🗙 -(7) (5)

〔設定の初期画面〕 (共通設定 1/4 ページ)

〔共通設定画面〕(1/4ページ)



セットキーを押すと、ミシンを初期の状態(購入時の設 定状態)からお好みの状態に設定することができます。 設定内容は、【共通設定】【通常ぬい設定】【言語設定】 の3つに分かれています。

【キーのはたらき】

- セットキー
 ミシンの設定内容が変更できる設定画面になります。
- ② 共通設定キー 通常ぬいの共通項目の設定画面になります。
- ③ 通常ぬい設定キー 📑 通常ぬい専用項目の設定画面になります。
- ④ 言語設定キー 回面に表示されている言語の設定画面になります。
- ⑤ ページキー 現在表示されている設定画面の次または前のページ (画面)を表示させるときに使います。
- ⑥ OK キー

変更した内容を確定し、セットキーを押す前の画面に もどります。

⑦閉じるキー

変更した内容を確定しないで、セットキーを押す前の 画面にもどります。

※設定内容を変更しても、OK キーを押さないで閉じ るキーを押した場合は、変更した内容は何も受け 付けられず、セットキーを押す前の画面にもどります。

【共通設定】

4 つのページ(画面)に分かれていて、10 項目の通常 ぬいの共通項目の設定ができます。

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+ / -」キーで調節すること ができます。

2音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+/-」 キーで調節することができます。 **〈O(消音)~5の6段階、初期値:3〉**

③ インチ / ミリ表示

画面に表示される数値の単位をインチとミリに切りか えることができます。

〈初期:ミリ〉

※画面に単位の「mm」または「inch」が表示され ているものが切りかわります。調節画面のぬい目 の幅やあらさの数値はかわりません。

〔共通設定画面〕(1/4ページ)





④待機時間(省エネモード)

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場 合、一定時間が経過するとミシンランプが消え、ミシ ンは省エネモードになります。その時間を設定するこ とができます。

- <1~30分および OFF (なし)、初期値:OFF (なし)> ※ 省エネモード中は、画面や操作ボタンに触れると 使用中のもとの画面にもどり、ミシンランプも点 灯します。
- ⑤ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても受け付けられない場合に調整することができます。

調整する場合は、画面の YES キーを押して、キー の位置調整画面を表示させ、付属のタッチペンで 「+」の中心を押します。 押すと、次の画面に切りかわるので、順番に(A)~(E) の画面の「+」の中心を押します。 (E)の画面は、ページキー中央の下側を押します。

(E)の画面が終了すると(F)の画面を数秒表示し、 共通設定画面にもどります。 〔共通設定画面〕(2/4ページ)





〔共通設定画面〕 (3/4 ページ)



⑥フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

フォーマットする場合は、画面の **「」** キー(ミシ ンの場合)または **『** キー(USB メモリの場合)、 を押してフォーマット画面を表示させ、OK キーを押 します。

※フォーマットすると、現在保存されているぬいデ ータがすべて消えますのでご注意ください。

⑦静音モード

ミシンの動作音を静かにしたい場合、静音モードでミ シンの動作音をおさえることができます。静音モード では、音量は1(設定が0のときは0のまま)、通常 ぬいのスロースタート調整はゆっくりの速度になりま す。

〈初期:OFF〉

※静音モード中は、設定画面の対応項目の右側と、 通常ぬいの右上に静音モードマークが表示されま す。



〔共通設定画面〕 (3/4 ページ)





〔共通設定画面〕(4/4ページ)



⑧ ライト
 3 カ所のライトの「ON」と、「OFF」を設定することができます。
 〈初期:3カ所ともON〉

設定する場合は、画面の YES キーを押してライト設定 画面を表示させ、 2 キーを押して ON/OFF 状態を変更 し、 OK キーを押します。内容が決定され、共通設定画面 にもどります。

※ 共通設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。

9背景色

画面の背景色を3色から設定することができます。<初期値:白色>

⑩ すべて初期状態にもどす

通常ぬいの共通項目、通常ぬい設定項目で設定したす べての内容を初期の状態(購入時の設定状態)にもど すことができます。 言語の設定はもどりません。

初期の状態にもどす場合は、画面の YES キーを押し、続けて OK キーを押します。 言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態 にもどり、セットキーを押す前の画面にもどります。 〔通常ぬい設定画面〕(1/4ページ)



【通常ぬい設定】

4 つのページ(画面)に分かれていて、9 項目の通常ぬい 専用項目の設定ができます。

①糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に 自動セットされますが、この自動セットされる値 Auto(オート値)をすべての模様に対して全体的に強 くしたり(+)、弱くしたり(-)することができます。 〈Auto - 5 ~ Auto + 5の11段階、初期値: Auto〉

2 針停止位置

ミシンを停止したときに、針を上の位置で停止するか 下の位置(布にささった位置)で停止するかの設定を することがができます。

〔通常ぬい設定画面〕 (2/4 ページ)



③ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動きはじめて からスピードコントロールつまみでセットした速さに なりますが、その動きはじめの速度をゆっくり (▶)、普通 (▶)、速め (▶ ▶)の3段 階にかえることができます。 上段はスタート / ストップボタン使用時、下段はフッ トコントローラー使用時の調節 (③-1) ができます。 〈初期:普通〉

〔通常ぬい設定画面〕(3/4ページ)



④ 押さえ上げ高さ(ピボット)

ぬいを止めたとき押さえが自動で上げる高さを調整す ることができます。 数値が大きいほど、押さえ上げの高さが高くなります。 「+/-」キーで設定します。

〈0.5~6.0mmの12段階、初期値:3.0mm〉

5 押さえ圧

押さえ圧は最適になるように自動で調節されますが、 お好みの圧に設定することができます。 Auto(オート)に対して強くしたり(+)、弱くした り(-)することができます。 〈Auto - 5 ~ Auto + 4 の 10 段階、初期値: Auto〉

⑥ バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整 バリアブル ZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ニーリ

フトで動く量を調整することができます。 「1」に設定すると、ニーリフトを小さく動かすだけで、 針棒は動く設定になります。 「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針 棒が動く設定になります。

- 「+/-」キーで設定します。
- <1~3の3段階、初期:2>

通常ぬい設定(4/4) 通常ぬい 通常ぬい オートストップ時の糸切り ON OFF ステッチの調整値を保存(FS) ON OFF 意好み記憶モーF(リジューム) ON OFF ON OFF ① ① ① ① ① ② ○</p

〔通常ぬい設定画面〕(4/4ページ)

⑦通常ぬいオートストップ時の糸切り

通常ぬいオートストップ時の糸切りを「ON」に設定 すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくて も自動で糸を切ることができます。

〈初期:OFF〉

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬい ボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを 停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的 に糸を切ります。

〔通常ぬい設定画面〕(4/4ページ)







⑧ステッチの調整値を保存(FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらさ、糸調子な どはオート値(電源を入れたとき、ミシンに自動的に 設定されている値)にセットされますが、ステッチの 調整値を保存を「ON」に設定すると、オート値を模 様ごとにお好みの値に変更して記憶することができま す。オート値をお好みの値に変更して記憶しておくと、 その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことが できます。

〈初期:OFF〉

閉じるキーを押すと、前の画面にもどります。

※オート値をお好みの値に変更して記憶する方法は、 「◎実用ぬい/●ぬい目の幅(針位置)、ぬい目の あらさ、糸調子のオート値の変更」(32ページ) をごらんください。

⑨お好み記憶モード(リジューム)

お好み記憶モードを「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面を表示し、ぬい目の幅やあらさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

〈初期:OFF〉

※お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電 源スイッチを入れると、前回のぬい画面を表示す るかを確認するためのメッセージ画面が表示され ます。メッセージ画面の OK キーを押すと前回最 後にぬっていた模様の画面になります。 閉じるキーを押すと、じつようぬいの初期画面に なります。

〔言語設定画面〕



【言語設定】

画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定する ことができます。

設定する場合は、設定したい言語を選び、OK キーを押 します。 **〈初期:日本語〉**

◎ミシンのお手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除





 注意
 ・お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源 プラグをコンセントから抜いてください。
 ・説明されている場所以外は、分解しないでください。 感電・火災・けがの原因になります。

【内がまの取り外しと掃除】

- ① 針と押さえを外します。
- ② 針板を外し、ボビンを取り出します。
- ※ 針板の外し方、付け方は、「◎操作方法/●針板の外 し方、付け方」(18ページ)をごらんください。
- ③内がまの手前を上に引きながら外します。
- ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布 で軽くふきます。
- ⑤ 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑥外がまの中央部をやわらかい布で軽くふきます。
- ※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、 掃除機などで吸いとってください。

【内がまの組み付け】

- 内がまを取り付けます。
 内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、
 内がまの凸部が回転止めの左側にくるように取り付けます。
- ② 針板を取り付けます。
- ③押さえ、針を取り付けます。

ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、 **む願い** ぬい不良の原因になります。ミシンの使用頻度が高い場合は、定期的にミシン内部の掃除をすること をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。 2

3

ミシンブラシ

プリテンション板



プリテンション板

ブラシ

 (1) 天板を上に開け、糸案内カバーの右側を持ち上げて、 ミシンから外します。

- ミシンの糸の通り道を付属のミシンブラシなどで掃除します。
- ※ プリテンション板の先端を持ち上げて、内側も掃除し てください。

③糸案内カバー裏側のブラシを掃除します。

④ 糸案内カバー (b)
 (a)
 (a)
 (b)
 (c)

糸案内カバ-

 ④ 糸案内カバーの取り付けは、先に左側を合わせ上部を 軽く押し込み(a)、次に右上側を押しつけ(b)、最 後に手前を押しつけて(c)、糸案内カバーをはめ込 みます。 ◎こんなときには

●注意メッセージが表示された場合

注意メッセージ	原因	処置
	針棒が下がった状態で電源を入れた。	手ではずみ車を手前にゆっくりまわし、 針棒をあげます。
♪ フットコントローラーを外して ください。	フットコントローラーを接続したま ま、スタート/ストップボタンを押 したときに表示されます。	スタート/ストップボタンを使用すると きは、フットコントローラーの接続を外 します。
 ・針を上げて、 電源を入れなおしてください。 	イニシャライズ時に動作が止められ た(糸通し軸や針棒が何かに引っか かって動かない等)ときに表示さま す。	押さえと針を上げ、電源を入れ直します。
♪ 押さえを確認して下さい。	針板をセットしたあとに表示されま す。	ぬい(模様、針板)にあった押さえに交 換します。
企 ぬいあがりました 押さえを上げてください。	ボタンホールぬいが終了すると表示 されます。	ボタンホールの重ねぬいをしない場合は、 押さえを上げます。続けてボタンホール の重ねぬいをするときには、押さえを上 げずにそのままスタートします。
♪ BH レバーを下げてください。	ボタンホール切りかえ(BH)レバー を下げないで、ボタンホールをぬっ たとき表示されます。	ボタンホール切りかえ(BH)レバーを下 げてからぬいます。
 ▲ ▲ ▲ ★ 針 金 単 ⇒ ⇒<td>2 本針設定をキャンセルしたとき表 示されます。</td><td>針を交換します。</td>	2 本針設定をキャンセルしたとき表 示されます。	針を交換します。
丘しい押さえホルダーが付いている か確認してください。	上送りぬい切りかえキーが押された ときに表示されます。	使用するホルダーが上送りホルダーか通 常ぬいのホルダーかを確認し、ホルダー をセットします。
 ・ ・ ・	ミシン運転時に負荷がかかり、上軸 がロックしたときに表示されます。	15 秒程待ち、物がはさまっていないか 確認します。 布厚を確認します。 針が曲がっていないか確認します。 内がまがずれていないか確認します。

注意メッセージ	処置
▲ 警告	ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外れているあいだ、針板が 外れていることを示すメッセージ画面が表示されています。 針板を取り付けたとき、このメッセージ画面が消えることを確認してください。 消えない場合は、もう一度取り付け直してください。
注 糸巻き中	 糸巻き軸が下糸巻き位置にセットされているあいだ糸巻き中のメッセージ画面が表示されています。 メッセージが表示されているあいだスタート/ストップボタン以外のキーの操作は受け付けません。 ・他の操作を行う場合は、糸巻き軸をもとの位置(左側)にもどしてください。

●ブザー音の種類

ブザー音	内容
ピッ	正しい操作をしたときの受け付け音です。
ピッピピー	ボタンホールなどのぬいが終わったときの終了音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音です。
ピー	ミシン異常時の警告音です。

※ 正しい操作をしたときの受け付け音は鳴らなくすることができます。「◎ミシンの設定/【共通設定】/②音量」 (121 ページ)をごらんください。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
上糸が切れる	 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. ぬい始めに上糸を押さえで押さえていない。 7. 糸がかまなどにからまっている。 8. 糸こまに上糸が引っかかっている。 	24 ページ参照 31 ページ参照 19 ページ参照 19 ページ参照 19 ページ参照 33 ページ参照 129 ページ参照 糸こま押さえを付ける
下糸が切れる	 下糸の通し方がまちがっている。 内がまの中にごみがたまっている。 ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 下糸の巻き方がゆるい。 	23 ページ参照 129 ページ参照 ボビンを交換する 巻く速度を速くする
針が折れる	 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 3. 布に対して針が細すぎる。 4. ぬい終わったとき布を手前に引いている。 5. 模様に合った押さえを使用していない。 	19ページ参照 19ページ参照 19ページ参照 布を向こう側に出す 指定の押さえに交換する
ぬい目がとぶ	 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 布に対して針と糸が合っていない。 ぬい目がとぶようなときに、付属のブルー針、パープル針を使っていない。 上糸のかけ方がまちがっている。 品質の悪い針を使用している。 	19 ページ参照 19 ページ参照 19 ページ参照 24 ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわになる	 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸、下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してぬい目があらすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 	31 ページ参照 23、24 ページ参照 19 ページ参照 ぬい目を細かくする 28 ページ参照
ぬいずれがおこる	1.押さえ圧が合っていない。	28 ページ参照
布送りがうまくいかない	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。	129 ページ参照 ぬい目をあらくする 13 ページ参照
ぬい目に輪ができる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。	31 ページ参照 19 ページ参照
ボタンホールが うまくぬえない	 1. 布に対してぬい目のあらさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。 3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。 	49 ページ参照 45 ページ参照 47、48 ページ参照
音が高い	 1.かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2.送り歯にごみがたまっている。 3.電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音がでる。 	129 ページ参照 129 ページ参照 異常ではありません
糸切りボタンで うまく糸が切れない	1. 使用している糸が太すぎる。 2. 糸がからまっている。	9 ページ参照 129 ページ参照

調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
うすい布、伸縮性の 布が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	19 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえていない。	24 ページ参照 33 ページ参照
かまに糸がからまる	 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。 	24 ページ参照 かまの交換 129 ページ参照
音がして糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	24 ページ参照 24 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない。 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。	25 ページ参照 25 ページ参照 19 ページ参照
糸通し後、糸通しレバー がいちばん上までもどら ない	1. すべりにくい糸を使っている。	糸通しレバーを、手で ゆっくり上までもどす
ぬい終わりに下糸が二重 に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して 針をあげる
ぬい目に下糸がでる	 ボビンのセットがまちがっている。 糸こまのセットがまちがっている。 上糸のかけ方がまちがっている。 上糸調子が強すぎる。 ジャノメのボビンを使用していない。 	23 ページ参照 20 ページ参照 24 ページ参照 31 ページ参照 20 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえていない。	24 ページ参照 33 ページ参照
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。 (ボビンの入れる方向/下糸が内がまのばねに入っていない。)	23 ページ参照
ボビンにうまく下糸が 巻けない	1. スピードコントロールつまみを []] [はやい] にしていない。 2. 糸のかけ方がまちがっている。 3. ボビンの上] または下] に巻きがかたよっている。 (調節ねじを (調節ねじを 左にまわす) 右にまわす) ポ案内カバー	7、21 ページ参照 21、22 ページ参照 調整ねじをまわす 注意:調整ねじのまわす範 囲は1 回転までにし てください。 部品が外れます。

調子が悪い場合	そ の 原 因	直し方
	 1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. ボビンに糸がからまっている。 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 下糸巻きをした後、糸巻き軸が糸巻きの位置(右側)にある。 6. 上糸が外れ、ボビンにからまって(ガチャガチャ音がする)いる。 	6 ページ参照 129 ページ参照 ボビンの糸を確認する 12 ページ参照 22 ページ参照 上糸かけを確認する [天びんの糸外れ確認]
ミシンが動かない	7. 上糸が天びんから外れ、他の部品にからまっている。	″″′′ \/ からまっている糸を取る
	 8. フットコントローラーを接続したままでスタート/ストップボタンを 押している。 	[からまっている糸の取り方] 手順 1. 電源スイッチを切る 手順 2. 面板をあける 手順 3. からまっている糸を 取る 手順 4. 上糸をかけ直す (24 ページ参照) 手順 5. 面板をしめる フットコントローラーを外す
	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	24 ページ参照
布裏で糸がからまる		[からまっている糸の取り方] 手順1. 電源スイッチを切る 手順2. 押さえ上げをあげ、 ハサミで布裏の糸を切る 手順3. 針板を外す (18ページ参照) 手順4. ボビン、内がまを外し、 からまっている糸を取 る(129ページ参照) 手順5. 内がま、ボビンをセッ トし、針板を取り付ける (129ページ参照) 手順6. 上糸をかけ直す (24ページ参照)
フットコントローラーを 踏んでも動かない	 フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。 	電源スイッチを入れてから フットコントローラーを踏む

- ※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生している もので、ぬい作業上はとくに問題はありません。
- ※ 長時間使うと操作ボタンや操作パネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬ い作業上はとくに問題はありません。

》模様一覧表

【通常ぬい模様】

【じつようぬい】

 $\begin{array}{c} \downarrow \\ c \downarrow \\$





【文字ぬい模様】

ブロック

ABCDEFGHIJKLMN O P Q R S T U V W X Y Z . a b c d - i j k I m n е f g h рq t Х У Ζ . . 0 r S u V W & _ \$ @ . 2 3 8 9 0 1 4 5 6 7 . . • 6 < > 3 1 i. () – + = / // % ~ : ? , À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î ΞÏ. Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß Ą Ć Ę Ğ İ IJ ŁŃŇŒŚŞÝŹŻŽ à èé âã åæÇ á ä êëì í ñ î ΞÏ. Øùúûü ßąćęğij ò ÓÔÕ Ö Şýź łńňœś ż ž

スクリプト	ABCDEFGHJJKLMM
	$\mathcal{OPQRSTUVWIYZ}$
	$\alpha \& c d e \& g h i j \& l m n$
	$o p g r z t u v w x y z \cdot \Box \Box \Box$
	1234567890&_\$@
	· ? ¿ ! i ' · · < > () - + = / // % ~ :
	À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ĵ Ĵ Ĵ Ï Ñ
	Ô Ô Ô Õ Ö V Ú Û Û B 4 Ć Ę G I H
	ĿŀŀŀŒĿSĿŸŹŻŽ
	À Á Â Ä Ä & Ç È É Ê Ì Í Î Ï Ñ
	Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü B Q Ć Ę Ă I İİ
	と ń ň ce í y Ý Ź Ž Ž

ブロ	ック	(9mm)
----	----	-------

Α	В	С	D	Ε	F	G	Н		J	Κ	L	Μ	Ν						
0	Ρ	Q	R	S	Т	U	V	W	Χ	Υ	Ζ								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&		\$	@						
,	?	3	1	i	6	,	<	>	()	-	+	=	/	//	%	~	1	



